

第二十五回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十八號

明治四十二年三月二十日(土曜日)  
午前十時六分開議

議事日程 第十八號 明治四十二年三月二十日

午前十時開議

第一 輸出菓子糖果原料砂糖戻稅法案(政府提出衆議院送付)

第二 產業組合法中改正法律案(政府提出衆議院送付)

第三 貴族院令中改正案(政府提出)

第四 立木ニ關スル法律案(政府提出)

第五 種痘法案(政府提出衆議院送付)

第六 醫師法中改正法律案(衆議院提出)

第七 歯科醫師法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會  
第一讀會  
第一讀會

會議(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

拘留料ニ關スル法律案特別委員會  
委員長 子爵酒井忠亮君 副委員長 男爵波多野敬直君  
裁判所臺灣總督府法院統監府法務院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律  
案、辯護士ノ職務並判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律  
案特別委員會  
委員長 子爵大田原一清君 副委員長 男爵關義臣君  
同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ  
立木ニ關スル法律案修正報告書  
貴族院令中改正案否決報告書  
家族賞典祿處分ニ關スル法律案修正報告書  
請願委員會特別報告第七號

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、輸出菓子糖果原料砂糖戻稅法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス。

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ 參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

輸出菓子糖果原料砂糖戻稅法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年三月十八日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

輸出菓子糖果原料砂糖戻稅法

同日本院ニ於テ否決シタル左ノ衆議院提出案ハ本院ニ於テ第二讀會ヲ開カ之ヲ衆議院ニ回付セリ

同日本院ニ於テ修正議決シタル衆議院提出建物保護ニ關スル法律案ハ即日

渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案

商法中改正法律案

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

## 第七條第十五號ヲ適用セス

## 附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員櫻井鐵太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 此法律案ハ我國ニ於キマシテ製造イタシマシタル所ノ菓子ヲ外國ニ輸出イタシマスルトキニ、使用イタシマス砂糖ノ消費稅ノ一部分ヲ交付イタスト云フ案デゴザイマス、近來我國ニ於キマシテ製造イタシマシタル所ノ菓子ガ段々外國ニ出ルヤウニナリマシタケレドモ、御承知ノ

通り砂糖ノ消費稅ノ今日可ナリ高イ稅ニナッテ居リマスル爲ニ、外國ノ市場ニ於キマシテ外國デ出來マシタル所ノ菓子ト我國ノ製造ノ菓子ハ競爭上ニ大ナル不便ガ今日アル次第ゴザイマス、ソレ故ニ原料ニ使用イタシマス所ノ砂糖ノ消費稅ノ一部分ヲ戻シマシテ輸出上ノ便利ヲ與ヘ輸出ヲ獎勵シタイト云フ

趣意ガ此法律案ノ大體ノ要點デゴザイマス、何卒御審議ノ上、御賛成アラムコトヲ希望イタシマス

○田中芳男君 チヨット質問ガアリマス、菓子ト云フモノハ外國ト云ツテモ廣イガ、併シ歐羅巴諸國若クハ亞米利加ノ方モ先づ外國ト云フ譯カ知リマセヌガ、支那ノ菓子ト日本ノ菓子トデハ又大變ナ違ヒガアル、ソコデ今マデ日本カラドコノ國ヘドウ云フ種類ノ菓子ガ參ツテ居リマスヤラ存ジマセヌケレドモ、委シク其種類及今後ノ見込ハドウナツテ居ルカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御答ヘ申シマス、今日マデ外國ニ出テ居リマスル菓子ノ種類ハ種々様ミデアリマス、又輸出先モ色ミノ國ニワツテ居リマス、併シ重モナル輸出先ハ清國、韓國其他各地ニ跨ツテ居リマス、ソレデ最近ノ三箇年ノ輸出高ノ平均カラ申シマスト、一箇年ニ凡ソ十八万圓バカリ今日ノ所

デハ出テ居リマス、併シ數年前ニ於キマシテハ一箇年ニ四十萬圓以上出タ年モゴザイマス、菓子ノ種類ハ餘リ煩雜デアリマシテ、茲デ一々申上ゲルノハ如何ト存ジマスルガ、日本デ出來マスル所ノ在來ノ日本製ノ菓子モ出テ居リマスレバ、「ビスクエット」デアリマスルトカ、其外西洋流儀ノ菓子モ色ミ出テ居リマス、詳細ナル調ハ印刷イタシタルモノヲ持ツテ居リマスル故ニ、委員會等ニ於キマシテハ細カク説明ヲ申上ゲヤウト存ジマス、大體左様御承知ヲ願ヒマス

○田中芳男君 尚ホチヨット御尋ネ致シマス、ソレデアチラヘ参リマシテ向フノ人ガ嗜好イタシテ消費シテ吳レマスモノカ、或ハ日本人ハ近頃諸方ヘ出テ

居リマスカラ、アチラニ居ル御國ノ人ガ食料ニ致ス譯カ、其邊モ御分リニナリマスナラバ伺ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御答ヘ致シマス、在來ノ日本流ノ菓子ハ多ク外國ヘ行ツテ居リマスル日本人ガ嗜好イタスノデアラウト存ジマス、併シ「ビスクエット」其外國風ノ菓子ハデス、是ハ矢張リ彼ノ地ノ外國人ガ消費イタスト云フコトニ聞イテ居リマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問モ無イト認メマスカラ、議事日程第二ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 産業組合法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

産業組合法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年三月十八日

衆議院議長 長谷場 純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔小字ハ衆議院ノ修正  
ハ同削除ノ符號〕

産業組合法中改正法律案

産業組合法中左ノ通改正ス

第一條第三號中「購買シテ之ヲ」「購買シ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

信用組合ハ組合員ノ外ノ者ニシテ組合加入ノ豫約ヲ爲シタルモノノ出資モゴザイマス、菓子ノ種類ハ餘リ煩雜デアリマシテ、茲デ一々申上ゲルノハ如何ト存ジマスルガ、日本デ出來マスル所ノ在來ノ日本製ノ菓子モ出テ居リマスレバ、「ビスクエット」デアリマスルトカ、其外西洋流儀ノ菓子モ色ミ出テ居リマス、詳細ナル調ハ印刷イタシタルモノヲ持ツテ居リマスル故ニ、委員會等ニ於キマシテハ細カク説明ヲ申上ゲヤウト存ジマス、大體左様御承知ヲ願ヒマス

第十五條 産業組合ハ其ノ設立ノ登記ノ申請ト共ニ左ノ事項ヲ記載シタル

組合原簿ヲ其ノ主タル事務所所在地ノ裁判所ニ差出スヘシ

第六條第二項ヲ削ル

二 挿込ミタル出資ノ總額

三 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額

四 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所

前條第二項ノ規定ハ前項ニ依リ差出シタル帳簿ニ之ヲ準用ス但シ前項

○第二號ノ事項ニ付テハ定款ヲ以テ一事業年度内一回又ハ數回二期日ヲ定

メテ其ノ期日後二週間内ニ記載ヲ爲スコトヲ得

裁判所ニ差出シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之

ヲ登記ト看做ス

第十五條ノ二 行政區劃又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ登記簿又ハ組

合原簿ニ記載シタル行政區劃又ハ其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト

看做ス大字若ハ字又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキ亦同シ

前項大字若ハ字又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキハ組合ハ遲滯ナク之ヲ

登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ登記所ハ登記簿又ハ組合原簿ノ記載ヲ變更ス

ヘシ

第一項ノ規定ハ事務所所在地ニ關スル定款ノ規定ニ之ヲ準用ス

第二十九條ノ二 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 各組合員ノ氏名、住所

二 各組合員ノ出資口數

三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日

四 出資各口ノ取得ノ年月日

五 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額

第五十四條中「脱退ヲ組合員名簿ニ記載シタル」ヲ「脱退シタル」ニ改ム

第五十八條第一項中「組合員名簿」ヲ「組合原簿」ニ改ム

第八章ノ次ニ左ノ一章ヲ加ヘ第九章ヲ第十章ニ第七十六條ヲ第九十三條ニ改メ以下順次之ヲ繰下ク

第九章 産業組合聯合會及産業組合中央會

第七十六條 産業組合ハ左ノ目的ヲ以テ産業組合聯合會ヲ設立スルコトヲ

得  
(信用組合聯合會)

一所屬組合ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト  
二 所屬組合ノ賣却スル物ニ加工シ又ハ加工セシテ之ヲ賣却スルコト

三 (販賣組合聯合會)

所屬組合ノ購買スル物ヲ購買シテ之ニ加工シ又ハ加工セシムル所屬

組合ニ賣却スルコト(購買組合聯合會)

前項第一號ノ聯合會ニ在リテハ信用組合外ノ組合又ハ第二號乃至第四號

ノ産業組合聯合會ヲ加入セシムルコトヲ得

(生產組合聯合會)

前項第一號ノ聯合會ニ在リテハ信用組合外ノ組合又ハ第二號乃至第四號

ノ産業組合聯合會ハ社團法人トス

産業組合聯合會ノ組織ハ有限責任及保證責任ノ二種トス

保證責任産業組合聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ保證責任ハ其ノ出資

總額ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十八條 産業組合又ハ産業組合聯合會カ産業組合聯合會ニ加入シ又ハ

脱退セムトスルトキハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十九條 産業組合聯合會ノ區域ハ道府縣以内ノ範圍ニ於テ之ヲ定メ定

款中ニ記載スヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ主タル事務所所在地ノ地方

長官ノ認可ヲ得テ此ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスル二箇以上ノ産業組合

聯合會カ合併セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第一項但書又ハ前項ノ規定ニ依リ設立シタル産業組合聯合會ノ監督其ノ

他ノ職務ハ其ノ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官之ヲ行フ

第八十條 産業組合聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ所屬組合又ハ所屬

聯合會ノ理事及監事ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事

又ハ監事ニ非サル者ヨリ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ

付地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

産業組合聯合會設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第八十一條 産業組合聯合會ニハ本法<sup>章</sup>ニ規定アルモノヲ除クノ外産業組合

二關スル規定ヲ準用ス

第八十二條 産業組合中央會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及、發達及

聯絡ヲ圖ル目的ヲ以テ設立スルコトヲ得

産業組合中央會ハ社團法人トス

産業組合中央會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ事業ノ一部ヲ行フコ

トヲ得  
ヘシ

第八十三條 産業組合中央會ノ名稱中ニハ産業組合中央會ナル文字ヲ用ウ

ヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第八十四條 産業組合中央會ハ全國ヲ通シテ一箇トン其ノ設立ハ主務大臣

ノ許可ヲ受クヘシ

産業組合中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十五條 産業組合及産業組合聯合會ハ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコ

トヲ得

前項以外ノ者ト雖定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコ

トヲ得

第八十六條 産業組合中央會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一名 稱

二 事務所

三 會員ノ加入及脱退ニ關スル規定

四 會員ノ權利義務ニ關スル規定

五 資產ニ關スル規定

六 役員ニ關スル規定

七 會議ニ關スル規定

八 事業ノ執行ニ關スル規定

九 定款ノ變更ニ關スル規定

十 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第八十七條 産業組合中央會設立ノ許可アリタルトキハ二週間内ニ主タル

登記スヘキ事項左ノ如シ

一 目的及第八十二條第三項ノ規定ニ依ル事業ノ種類

二 第八十六條第一項第一號、第二號及第十號ニ掲タル事項

三 資產ノ總額

四 設立許可ノ年月日

五 理事及監事ノ氏名、住所

第十四條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十八條 産業組合中央會ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

第八十九條 産業組合中央會ノ理事及監事ハ會員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ノ理事、監事及第八十五條第二項ノ會員ノ中ヨリ之ヲ選任スヘシ

第九十條 産業組合中央會ノ總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ中ヨリ選出シタル代表者ヲ以テ組織ス但シ第九十二條ニ於テ準用シタル第六十

二條第一項第二號ノ總會ハ會員ヲ以テ組織ス

第九十一條 産業組合中央會ハ主務大臣之ヲ監督ス

第九十二條 第三條、第五條、第六條、第七條、第十條、第十五條ノ二、第十  
六條、第二十六條、第二十七條、第二十九條、第三十條乃至第三十五條、第  
三十九條第一項、第四十七條、第六十條、第六十一條、第六十二條第一項  
第一號第二號第四號第五號、第六十三條、第六十九條乃至第七十五條、第  
八十條第二項、第九十三條、第九十四條、第九十八條、第九十九條、第一百  
一條、第一百二條第二項、第一百三條乃至第一百五條及民法第六十二條、第六十  
四條ノ規定ハ産業組合中央會ニ之ヲ準用ス

第七十六條ニ左ノ一號ヲ加フ

九 組合ノ目的タル事業ニ非サル營利事業ヲ營ミタルトキ

第七十九條中「出張所」ノ下ニ「産業組合聯合會及産業組合中央會ノ登記ニ  
付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所」ヲ加フ

第八十條中「産業組合登記簿」ノ下ニ「、産業組合聯合會登記簿及産業組合中  
央會登記簿」ヲ加フ

第八十一條第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額ヲ證スル書面

四 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ加入ヲ證スル書面

第八十二條第三項及第八十七條但書中「組合員名簿」ヲ「組合原簿」ニ改ム

第八十五條第一項中「第八十三條」ヲ「第一百條」ニ改ム

第八十六條中「第八十一條第一項」ヲ「第九十八條第一項」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前産業組合カ裁判所ニ差出シタル組合員名簿ハ組合原簿ト看做

ス

〔國務大臣男爵大浦兼武君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵大浦兼武君) 唯今議題ニ上ボリマンタル産業組合ノ法案ニ付キマシテ簡單ニ説明イタシタイト存ジマス、我國ノ産業組合ト云フモノハ

明治三十三年産業組合法ノ發布以來、漸次ニ其數ヲ増加イタシマシテ、殊ニ最

近二三年間ニ於テハ非常ナ進歩デゴザイマシテ、現時ニ於テハ其總數四千三

百ヲ超過イタシテ居リマス、其中產以下ノ者、產業及其經濟ノ發達ヲ利スル所

ガ誠ニ少ナカラヌノデゴザイマス、我國ノ如キ小農家小工業者ガ多ウゴザイ

マシテ、殊ニ此經濟ノ資力潤澤ナラザル國民ニ取ッテ、向後益々本組合ノ普及ヲ獎勵シテ、併セテ內容ノ改善ト有效ナル活動ヲ圖ルト云フコトハ最モ緊急ナルコト、存ジマス、政府ハ益々茲ニ意ヲ注ギマシテ、而シテ此組合經營ニ關スル既往ノ經驗ニ鑑ミマシテ、現行法ヲ改正シテ第一ニ此種々煩雜ニ涉

ルコトヲ省略シ、且ツ組合ノ苦痛ヲ感ズル所ノ負擔ヲ輕減シ、而シテ組合ノ普及ヲ容易ナラシメテ以テ、此産業組合聯合會ヲ認メテ組合相互ノ事業ノ聯絡ヲ通ジテ、一方ニ充實セル所ノ餘剩ヲ以テ他方ノ缺乏セル所ヲ補ッテ、彼

是相補ウテ而シテ此需要供給上ノ利便ヲ制スルト云フコトガ、即チ經濟上ニ於テ弱者ノ地位ニ立ツテ居ル中產以下ノ團結ヲ大ニ致シマシテ、競爭上一段ノ利益ヲ得セシムルト云フコトニ至ラムコトヲ期スルノデゴザイマス、且ツ組合事業ノ整理ヲ期スルガ爲ニ組合ノ中樞トナル所ノ機關ヲ設ケマシテ、而シテ此産業組合及產業組合聯合會ノ增设ト其正當ナル事業經營ノ方法ヲ指示イタシマシテ、サウシテ之ヲ發達セシメムトスルノガ今度ノ改正案ノ大體デゴザイマス、最早會期モ切迫イタシマシテ斯ノ如キ案ヲ提出シタ譯デゴザイマスガ、何分速ニ御協賛アラムコトヲ希ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問モ無イト認メマスカラ次ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三、貴族院令中改正案、政府提出、會議、委員長報告、此際諸君ニ御諮リテ致シマスガ、先日議長ハ此貴族院令中改正案ノ議事ハ讀會ノ順序ヲ經マセヌデモ宜カラウト云フコトヲ御諮リテ致

シマシテ、其際諸君ニ於テモ御異議アラセラレマセヌヤウニ承知イタシマシタガ、其後色々取調ヲ致シマシタガ、明治三十八年ノ貴族院令中改正案ノ事ノ節モ讀會ノ順序ヲ經テ居リマスカラ、此度モ矢張リ讀會ノ順序ヲ經タ方ガ諸君ニモ御分リガ宜カラウト考ヘマスカラ、本日此所ニ居ラレマス諸君ニ於テ御異存ガ無ケレバサウ云フコトニ取計ヒタク存ジマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

〔「異議アリ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガアリマス以上ハ起立ニ問ヒマス、讀會ノ順序ヲ經ベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、故ニ此議事ハ普通ノ法律案ト等シイ順序ニナリマスカラ左様御承知ヲ請ヒマス、特別委員長二條公爵

〔「左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ微フ」〕

貴族院令中改正案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十九日

右特別委員長  
公爵 二 條 基 弘

〔公爵二條基弘君演壇ニ登ル〕

○公爵二條基弘君 委員會ノ經過及結果ヲ御報道イタシマス、委員會ハ昨日一日デ全ク終ツタノデアリマス、其委員會ニ於キマシテ、最初質問ニ入りマシタ所、續々反對者ノ質問ガアリマシタ、併シ其質問ニ付イテ悉クハ申ス必要モアリマセヌガ、其大要ノ二三ヲ申セバ、今回此改正ヲ出サレタト云フモノハ、ドウ云フ譯デアルカ、現行ノ定メラレタル事ハ、其以來未ダ一回モ選舉ノ事ハ行ハレテ居ラヌノダ、然ルニ今之ヲ不公平ダトカ、甚ダ不都合ダト思フカラ此改正案ヲ出スコトニナッタトカ云フノハ、ドウ云フ理由デアルカ、居ツタノニ、此度ハ其按分ト云フコトハ止メテ仕舞ツテ、是マデ按分ヲ用ヰテアツタ所ノ伯爵トカ、子爵トカ云フ議員ハ其儘据置キデ、男爵ノ方ハ少シ人ヲ殖ヤスト云フコトニナッタノハ、ソレハドウ云フ理由デアルカ、ソレデ

其事ガ公平ト言ハレルノデアルカト云フコトモアリマシタ、政府委員トノ應答ト云フモノハ大抵マアスウ云フ事ガ元ニナリマシテ、其他種々ニ方法ハ辯ゼラレマシタケレドモ、歸スル所ハマアコ、ラガ一番質問ノ要點トナル所ト思ヒマス、政府委員ノ答ヘデハ、此度之ヲ出スト云フコトハ國運ノ隆盛ニ伴ウテ、爵ヲ新ニ受クル者ガ段々殖エテ來ル、ソレダカラシテ是マデノ如ク按分ヲ以テヤルノハ、甚ダ公平トハナラヌカラシテ今回ノ改正案ヲ出シタノハ、是マデ按分ヲ以テヤッテ居ツタ其數ノ中デ、伯爵ト子爵ノ方ハ据置キニシテ置イテ、男爵ノ方ハ七名増スト云フダケノコトデ、今度ハ餘計其人員ガ殖エテ居ルカラ七八人増スコトニシタノハ、全ク按分ヲ以テヤッタ事デハナイ、却ツテ其比較ヲ以テヤッタノデアルカラ、此方ガ公平デアルト云フヤウナ答デアリマシタ、ソレカラ其他種々應答モアリマシタケレドモ、歸スル所、モウソレホド其趣意ニ於キマシテハ變ハッタ事デナイト思ヒマスカラ、今一々茲ニ申シマセス、ソレヨリ質問ハ終局ニナリマシテ、討論ニ移リマシタ所、其贊成者ノ方ノ意見ト、ソレカラ反対ノ意見ト、雙方共ニ述ベラレタ諸君モアリマシタケレドモ、歸スル所ハ其二三箇條ガ一番ニ押シクルメテ申セバ重モナル理由カト考ヘマス、ソレハ其曩ニ……現行トナツテ居ル其法案ガ決メラレテ後、未ダ一回モ選舉ハ行ツテ居ラナイ、今ソレヲ此不公平デアルト云フコトデ、今度、公平ト看做シテ此度改正ヲ出シタ云フコトハ、甚ダ其理由ヲ得ナイモノデアラウ、ソレカラ是ヨリ男爵ノミナラズ、其他ノ華族モ段々殖エラ來ヤウ、然ルニ此法案ノ如クニシテ居テハ、甚ダ其公平ヲ失シハシナイカ、ナゼナレバ人ガ殖エレバ殖エルダケ按分ヲ以テヤラレテ、其殖エタ方ノ爵ノ人ヲ餘計出スト云フコトガ、マア至當デアラウ、今日ノ現行ニ照ラシテ見テモ、子爵ト男爵トハ、其總數ニ於テハ男爵ノ方ガ、マダ子爵ヨリ二名多イ、然ルニ子爵ノ方ハ七十名トシ、男爵ハ僅カ增シテ六十三名トシタ、是デ以テ公平ト言ヘルカト云フヤウナコトモアリマシタ、ソレカラ又此法案ハ實ハ憲法附隨ノ法案デアル、容易ニ改正ナドヲナスベキモノデナイ、政府モ其事ハ前以テ言ハレテ居ル、然ルニ此會期切迫ノ時ニ於テ斯ノ如キ事ヲ出ス、殊ニ未ダ其實歷ヲ以テ果シテドコガ不都合デアルト云フコトモナクシテ、今日之ヲ此時ニ於テ出サレルト云フコトハ、ドウ云フ譯デアルカ、甚ダ其要ヲ得ナイ、謂ハユル斯ウ云フ事ヲナシタナラバ朝令暮改ノ譏ヲ免ル、コトハ出來ナイデハナイカ

ト云フヤウナ趣意デアリマシタ、要スルニ種々議論ハ鬪ハシマシタケレドモ、先ヅコ、ガ一番ノ要點ノ重モナル所カト信ジマス、ソレデ結局討論ヲ終結シマシタ後ニ採決ヲ致シマシタ所ガ、出席總數ガ十四名デアリマシテ、本案ヲトスル委員ガ七名、謂ハユル正半數ニナリマシタ、ソコデ委員長ガ何レカ此所ニ於テ決セネバナラヌ場合ニナリマシタ、デ本員ハ三十八年ニ出マシタ時ニモ本案ニハ反対ヲ表シマシタ、其理由ハ先キニ反対者ノ意見トシテ申述べタル委員ガ七名、斯ノ如キ法令ハ憲法附隨ノモノデアッテ容易ニ改正スペキモノデナイ、何カ一ツノ理由ガナクテハナラヌガ、ドウモ此度モ前ノ時ニモデス、マシタ所ノ、斯ノ如キ法令ハ憲法附隨ノモノデアッテ容易ニ改正スペキモノデス、又ドレダケ今日緊急ヲ要スルカ、サウ云フ場合トモ思ハナイ、甚ダ政府ノ説明ニ於キマシテモ、明瞭ヲ缺キテアリマスルデ、遺憾ナガラ此度モ前回ト同其理由ノ説明ヲ政府ニ伺ヘバ決シテ満足スペキダケノ理由ヲ見出シマセヌ、ジク本員ハ此案ニ反対セザルヲ得ザル位置ニ至ツタノデアリマス、ソレ故ニ本員ハ否決ノ方ニ同意イタシマシタ、ソコデ本案ハ一名ノ多數ヲ以テ否決サレタ譯デアリマス、是ガ先づ委員會ノ大要ハ右ノ通り御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス

○議長（公爵徳川家達君） 唯今通告順ニ依リマシテ、原案反対者カラ登壇ヲ促サウト思ツテ居リマス

〔平山成信君「ソレデハ其次ニ……」ト述フ〕

○議長（公爵徳川家達君） 暫ク御待チヲ願ヒマス、岡内男爵

〔男爵岡内重俊君演壇ニ登ル〕

○男爵岡内重俊君 諸君、本案ニ付キマシテ、本員ハ反対ノ一人デゴザイマスガ、此問題ニ付イテハ贊成反対共ニ澤山アル様子デゴザイマスカラ、本員ハ唯雙方ノ討論ヲ開ク、形式的端緒ヲ啓ク位ナ極ク簡單ニ意見ヲ陳述シテ諸君ノ清聽ヲ汚シマス、貴族院令ハ憲法附帶ノ大切ナル院令デゴザイマシテ、容易ニ改廢スベカラザルモノデアル、正確ニシテ十分ナ理由アルニアラザレバ容易ニ改正ヲ加フベカラザルモノデアルコトハ諸君ト御同感ノ次第ゴザイマス、詰リ公平、公平ニ現行法ハ規定サレテアリマス、其最モ公平ハ何レノ點ニアルカト言ヘバ、彼ノ伯子男、此互選ノ際ニ當ツテ「伯子男爵各其ノ總數ニ比例シテ之ヲ定ム」、是ガ骨子デゴザイマス、「伯子男爵各其ノ總數ニ比

例シテ之ヲ定ム」、此總數ノ比例、即チ按分比例、是ダケ公平ナモノハナイ、然ルニ之ヲ破ラウト云フ之ヲ破壊シヤウト云フ原案デゴザイマスル、已ミヲ得ズ本員モ此院令擁護ノ爲ニ簡單ニ一言ヲ述べテ諸君ノ清聽ヲ煩ハス次第デアリマス、委員會ノ議論ナドヲ承リマシテモ、提出者モ公平ト云フコトハ保テヌ公平ヲ破ルト云フコトハ承知セラレテ居ルト見エテ、始メニハ公平、公平ト云フコトヲ言ハレテ居リマシタガ、後ニハソレヲ改メラレテ穩當、穩當ナリト云フ、穩當ナル考ト云フコトヲ言ハレタ位デス、何故ニ此公平ナル現行ノ院令ヲ改メルカト云フ所以ヲ考フルニ、何ホド考ヘテモ、スカカリ其改正スペキ趣旨ガ分リマセヌ、又此重大ナル改正案ヲ出スニ當ツテ、セメテ議會ノ開會始メニ出サルベキモノデアリマスルガ、殆ド閉會間際ニ至ツテ突然ニ之ヲ提出シテ十分ニ熟考ノ期間ヲ與ヘスト云フノモ實ニ怪シムベキ提出ノ仕方デアル、要スルニ提出者モ、現行法ノ公平ナルコトハ百モ合點、千モ承知デアル、併シ之ヲ改メムトスルノハ詰リ一種ノ政略ヨリ提出サレタモノト推察スルノ外ハアリマセヌ、成ルホド政府當局者トシテハ政略ノ爲、自衛ノ爲、斯ル手段ヲ執ルコトモ、亦是ハ政府當局者トシテハ爲スペキコトカモ計ラレマセヌガ、併シ我々貴族院ハ、貴族院議員ノ選出ノ基礎タル貴族院令ハ擁護セネバナラヌ、若シ此按分比例ト云フ原則ヲ破ツテ不公平ナル改正案ガ通過イタシマスレバ、且ツ之ヲ賛成イタシマスルコトニナレバ、我々ハ院ノ内外ヲ問ハズ貴族院議員ノ職責上、之ヲ汚スモノデアル、故ニ本案ハ断ジテ破棄セラレムコトヲ望ムノデアリマス、併シ若シ萬一公平デアル一種ノ修正デモ出マスレバ、或ハソレハ賛成スルカモ知レス、此原案ニハ断ジテ反対イタシマスル

○議長(公爵徳川家達君) 平山成信君

〔平山成信君演壇ニ登ル〕

○平山成信君 本員ハ少數委員ノ一人デアリマスル故ニ、聊カ委員會ニ於テ原案ヲ賛成イタシマシタ趣意ヲ述ベマシテ諸君ノ御参考ニ供シタイ考デゴザイマス、此案ハ五年前ニ一トタビ議場ニ上ボリマシタル案ト略、同主義ノ案デアリマシテ、其節本員ハ原案ニ賛成ヲ致シマシタケレドモ、不幸ニシテ我ノ說ハ一票ノ差ヲ以テ破レマシテ、唯今行ハレテ居ル所ノ現行貴族院令第4條ノ二項ガ修正トシテ成立チマシタノデアリマス、昨日モ亦偶然ニモ委員會ニ於テ一票ノ差ヲ以テ我ノ說ガ成立チマセヌデ今日茲ニ登ツテ再び自分

ノ意見ヲ申述ベナケレバナラヌ場合ニナリマシタノハ甚ダ遺憾ニ存ジマスルガ、又已ムヲ得ヌ次第デアリマス、一體此案ニ付イテハ昨日委員會ニ於テモ原案反對ノ諸君カラ段々ニ御質問モアリ、又御演説モアリマシテ謹ンデ拜聴イタシマシタ、誠ニ皆何レモ一理アル御説デアツテ、且又御熱心ニ御主張ニナリマシタガ、其論點ヲ拜聴スルノニ、要スルニ最モ重イ點ハ選舉ニ付イテハ何所マデモ現行法ノ如ク按分比例ヲ以テスル方ガ宜シイ、是ガ殆ド選舉法ニ於テハ唯一ノ完全ナル方法ノ如クニ御論ジニナリマスルノデアツテ、唯今岡内君ノ御説モ即チソレニ外ナラヌヤウニ存ジマス、我々ノ反対イタスノモ即チ其點デアリマシテ、詰リ按分比例ト云フコトハ果シテ選舉ノ上ニ於テ唯一ノ完全ナル方法デアルヤ否ヤ、私ドモノ考ヘル所デハ決シテ左様ナモノデナイ、一ツノ方法ニハ相違ナイガ、斯ノ如ク完全ニシテ、サウシテ必要ナルモノデハナイト考ヘルノデアリマス、ノミナラズ之ヲ有爵者互選議員ノ選舉ニ適用スルニ於テハ甚ダ不都合ナル結果ヲ生ズルト云フコトガアル、此二點ヨリ致シテ此按分ト云フコトニハ反対ヲ致スノデアリマス、華族ニ五爵ノ制ガ御設ケニナツテ居ツテ、ソレ／＼高下ノ區別ガアル以上ハ、普通ノ選舉ノ場合ト違ツテ其爵モ斟酌シナケレバナラヌ、故ニ五爵各別ニ選舉ヲスルヤウナ工合ニナツテ居ルノデ、是モ一ツノ方法デアリマス、其他段々考ヘテ見ルト色ニナ方法ガアル、或ル人ハ五爵ノ區別ニ依ラズニ華族全部ヲ通ジテ選舉スルガ宜イト云フ御方モアリマス、是モ一ツノ方法デアリマス、其他段々考ヘマス、或ハ又爵ニ高下ノアル以上ハ、其爵ノ高下ヲ矢張リ斟酌シテ、爵ノ高イモノハ比較的ニ議員ヲ多數………合ヲ強クスルト云フノモ一ツノ方法デアラウ、要スルニ色ニナ方法ガアツテ、ソレヲ決スルノハ其時ト所トノ宜シキニ從ツテ決スルノデアツテ、決シテ頭數バカリヲ元ニシテ何所マデモソレヲ按分比例デ出サナケレバナラスト云フ理由ハ發見シ得ナイノデアリマス、又貴族院以外ノ選舉ノ例ヲ御覽ニナツテモ分ルコトデアツテ、昨日モ委員會ニ於テ穗積君ガ御述ベニナリマシタガ、衆議院ノ選舉ニシタ所ノ模様ヲ御覽ニナレバ強チ選舉人ト選出議員トノ數ガ按分比例ノ數ヲ以テ何所マデモ行ツテ居ル譯デナイ、選舉區ニ從ツテ色ニナ有様ガアガ、各選舉區ノ模様ヲ御覽ニナレバ強チ選舉人ト選出議員トノ數ガ按分比例ノ數ヲ以テ何所マデモ行ツテ居ル譯デナイ、選舉區ニ從ツテ色ニナ有様ガアガ、マシテ況ヤ市町村會ナドノ事ニ付イテハ初メヨリシテ選舉人ノ中ニ二級ト云フガ如キ等級ヲ設ケテアル位ノモノデ、一人デ他ノ級ノ十人ニモ百

人ニモ當ルダケノ選舉權ヲ有ツテ居ルコトガアル、ソレ等ノ例ヲ見マシテモ決シテ按分比例ト云フコトガ選舉ニ付イテ唯一ノ完全ナル方法デナイト云フコトハ明瞭デアラウト考ヘルノデアリマス、而シテ之ヲ有爵者互選議員ノ選舉ノコトニ適用シテ參ルナラバ、ドウ云フ結果ガ生ズルカト云フト、甚ダ困ヅタコトニナル、即チ爵ニ既ニ高下ノ別ガアッテ、高イ爵ノ者ハドウシテモ人ガ少ナイ、又高イ爵ノ者ガ少ナイトスレバ段々ニ高イ人ハ少ナク出ル、低イ人ノ方ガ多クナルト云フコトハ是ハ當然其者ノ性質ニ於テ然ルベキコトデアッテ、是マデノ既往ノ事實ニ於テモ現在ノ事實ニ於テモ現在ノ有様ニ於テモ明カニ其通リニナツテ居ル、將來此傾キハ益々増シテ參ルト云フコトハ決シテ豫想スルニ難カラヌコトデアリマス、然リトスレバ本院ノ有爵者互選ノ場合ニ於ケルガ如キ、先日ドナタカ仰セラレマシタ輪廓ト云フ即チ上ニ總數ガ限ツテアッテ其範圍ニ於テ選舉シテ參ルノデアリマスカラ、其按分比例ヲ何所マデモ單純ニ適用シテ參レバ段々段々ニ低イ方即チ人數ノ多イ御方ノ選出ナサルベキ議員ノ數ハ減ルト云フコトハ是モモウ當リ前ノコトデアル、其極甚ダ偏輕偏重ノコトガ起ルト云フコトハ、ドウシテモ免レス譯デアリマス、其結果ハ甚ダ不都合ナ譯デアッテ、決シテ好イ結果トハ申セマイト思フノデアリマス、ソレガ即チ三十八年ニ於テモ本員等ハ原案ヲ贊成シテ按分比例ヲ以テスルト云フ修正案ニ反對シタル要旨デアリマシテ、今日又此原案ニ贊成スルノモ其趣意ニ外ナラヌノデアリマス、若シ按分比例ガ惡ルシトスレバ、ドウスレバ宜イト云フ問題ニナリマスガ、前ニ述べマシタ通り色ニ方法ガアリマス、本員等ノ考ヘル所デハチヨツト先キホド申シタ各爵互ノ頭數ト爵ノ高下トヲ參酌シテ、爵ノ高イ方ハ比例的ニ議員ヲ選舉スル歩合ヲ強クシテ段々ニ遞減シテ行クト云フコトガ相當デハアルマイカ、既ニ唯今行ハレテ居ル貴族院令ニ於テハ公侯爵ハ世襲ニシテ全部出テ居ラル、カラ、之ニ續ク所ノ伯爵ハ他ノ爵ニ比スレバ比例ヲ高クシ、子モ其通り、段々又從ツテ減ルト云フ工合ニナルノガ一番宜イカモ知レヌト思ヒマス、併シソレニ付イテハ昨日委員會ニ於テ富井君ノ御述ベニナツタ通り、今新タニ制度ヲ設クルト云フ時デアレバ其事ハ十分主張シナケレバナラヌガ、既ニ院令施行後二十年ノ星霜ヲ經テ沿革モアル、現在成立ツテ居ル所ノ事實モアル以上ハ、強チ今サウ云フコトヲ持出スト云フ譯ニモ參ラヌ、果シテソレガ正當デナイカモ知レマセ

ヌガ、果シテ然ラバ先づ現在ノ事實ヲ押ヘテ現在ノ數ニ依ツテ増減ヲスルト云フノハ一番宜シイト思フノデアリマス、ソレデ今度ノ原案ニ對シテドウ云フ結果ニナルカト存ジマスト、各爵ノ間ノ權衡ガ甚ダ宜シクナイト云フ御議論モ段々昨日モ拜聽イタシマシタガ、伯爵議員ガ十七人、子爵議員ガ七十人、男爵ガ六十三人ト云フコトニナリマスト、伯爵ハ五人九四ニ付イテ一人、子爵ハ五人三九ニ付イテ一人、男爵ハ六人ニ付イテ一人ノ議員ヲ選出スル割合ニナルサウデアリマス、致シマスルト子爵ハ詰リ五人餘ニ付イテ一人ヲ出スト云フコトデ、殆ンド其歩合モ餘リ違ハス、男爵ハ唯六人ニ付イテ一人デアルカラ少シ減ルコトニナル、又伯ノ方ハ五・九四デアッテ、子ノ方ハ五・三九デアリマスカラ、少シ伯ノ方ガ比例ガ弱イト云フコトデアリマスガ、如何ニモ差ハ少々バカリノコトデアッテ……〔ノーノー〕ト呼フ者アリ」左マデ論ズベキコトデハナイト考ヘル、反對論ノ御方ノ位置ニ立ツテ考ヘテ見テモ、サウ喧マシク不權衡不權衡ト仰シヤル程ノ關係デハナイト本員ハ信ズルノデアリマス、右ノ如ク本員ハ原案ヲ贊成イタシマスガ、唯原案ニ付イテ委シク申セバ一點不滿足ノ所ガアルノデアリマス、ソレハ有爵者議員ヲ七人増シテ置イテ勅選議員ノ方ハ少シモ増サヌト云フノデアリマス、諸君モ御承知ノ通り此貴族院ノ種族ハ社會ノ上流ニ於テ品位ハ高尚ニ思想ハ著實ニアルベキ所ノ華族ヲ以テ主要ナル元素トシテ、之ニ配スルニ學識經驗ヲ有スル勅選議員ト地方ノ富ヲ代表スル多額納稅議員ヲ以テシテ居ルノデアリマスカラ、有爵者ト他ノ二者トノ權衡ハ甚ダ重イモノデアッテ、有爵者ノ各爵ノ間ニ於ケル權衡論ニ較ベレバ此方ガ一層重イモノト本員ハ信ズル、然ルニ其方ハ一向構ハズ三十八年ニ決マツタ通り百二十五人ト致シ、一方バカリ七人増スト云フコトハ此權衡ヲ破ルト云フ嫌ヒガアルノデアリマス、サリナガラ多數ニ對スル七人クラキノコトデアリマスカラ強ヒテ之ヲ論ズル程ノコトモナイ、故ニ此點ニ於テハ本員モ意見ヲ曲ゲテ原案ニ贊成シタノデアリマス、故ニ若シ十人増スノ十五人増スノ二十人増スノト云フコトデアレバ反對シナケレバナラヌト云フコトハ申上ゲテ置ク次第デアリマス、本員ノ原案ニ贊成イタス論旨ハ甚ダ簡単デ、唯今申上ゲマシタ通りデアリマス、併シ按分比例ニ付イテ反對イタスコトハ極メテ堅イノデアリマス、ドウゾ満場多數ノ諸君モ原案ニ付イテ採決ニナル場合ハ、ドウゾ原案ニ御賛成ニナツテ此原案ノ通過スルヤウニ切望イタシマス、又唯今岡内男爵ハ貴族院令ハ憲法附帶ノ法令デアルカラ之

ヲ屢々、變ヘルノハ宜クナイト云フ御論デアリマシタガ、ソレハ御同感ノコトデアリマス、斯ウ云フコトハ成ルベク屢々、無イヤウニシタイ、若シ三十八年ニ於テ私ドモノ主張スル方ノ趣意ガ通ツテ居レバ再び今日ノヤウナコトハ起ラヌノデアリマスケレドモ、不幸ニシテ修正案ガ成立シテ按分比例ト云フヤウナ不都合ナコトガ成立ツタ故ニ、又今日再び斯様ナコトガ起ツタノデアリマスカラ、ドウゾ此度良イ方ニ決マツテ向後變ラヌヤウニシタイト本員ハ存ジマスノデアリマス、是ダケノコトヲ申上ゲテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 曾我子爵

〔子爵曾我祐準君演壇二登ル〕

○子爵會我祐準君 諸君、本員ハ本案ノ否決論者ノ一人デアリマス、即チ委員長ノ報告ノ通リニシタイト云フ、一人デアリマス、私ノ本論ヲ述ベマス前ニ前演説者ノ說ニ反對ヲ致シタイノデアリマスガ、既ニ昨日大概我ミノ反對論者トシテ出ラレタ御説ニ外ナラヌヤウデアリマスカラ別段言ヒマセヌガ、唯一二言申シタイ、原案ハ單純ノ法デアル、單純ナ法デアルトスウ言ハレルガ、按分比例ハ單純ナ法デナイ、單純ノ法デナイト云フコトヲ言ハレマシタガ、サレル前演説者デアリマスガ、按分比例ハ一番公平ナト云フコトヲ私ハ申スノデアリマス、是ハ先キニ至ツテ自然ニ分リマス、即チ偏重偏輕ト云フコトモ先キニ至ツテ分リマスノデ、先ヅ前論者ニ對シテ此所デ駁擊ヲ致シマセヌ、本案ハ先日モ申サレマシタ通り三十八年ノ敗北案ガ再出シタノデアリマス、是ハ桂總理大臣ガ言明サレマシタ、又事實デアリマス、憲法附帶ノ法令ハ容易ニ變更スベカラズト云フコトハ誰モ認ムルコトデアル、桂總理モ自ラ言ハレルノデアル、斯ク言ハル、御方ノ口ハサウ言ウテ、サウシテ其人ノ手カラ此改正案ガ出ル、初メカラ餘ホド事理顛倒ノ案ト言ハナクテハナラヌ、政府委員及總理大臣ハ公平、公平、公平ヲ保ツガ爲ニ此改正ヲスル、委員會ニ於テハ非常ニ主張サレマシタ、始メノ中ハ公平一點張リト云ツテ宜イ位ノ主張デアリマシタガ、段々詰掛ケテ質問スルト、公平ハ取消サレマシタ、速記録デ御承知クダサイ、穩當ト云フ字ニ變ハリマシタ、是ハ諸君御承知デゴザイマセウ、其穩當ナリト云フコトハ如何ナルコトデアルカト云フ質問ハ數回ヲ重ネマシタケレドモ、トウ〜〜穩當ノ理由ハ分リマセヌ、斯ノ如キ故ニ提出ノ理由ト云フモノハ、トウ〜〜私ドモハ分ラヌノデアリマス、分ラヌ

ニ依ツテ其論ニ付イテハ唯否決ト云フヨリ外、斯クスクノ譯デ此案ハ贊成シ  
ナイト云フコトハ政府ニ向ツテ殆ド言ヒ惡クイノデアリマス、理由ガ分ラナ  
イニ依ツテ其理由ニ對シテ非難ノ仕様ガナイ、委員會ニ於テ贊成論者卽チ我  
ニ反対セラレル諸君ノ御演説モ段々承リマシタガ、中ニ就イテ穗積博士  
富井博士ノ御論モ拜聽イタシマシタ、先ヅ此兩博士ノ御議論ニ付イテ駁撃ヲ  
試ミマス、穗積博士ノ御議論ニ對シテ陳述スル前ニ一應御断リ申シマス、昨  
日ハ議論ノ激シタ餘波、或ハ失禮ノコトヲ申上ゲタカモ知レマセヌ、若シモ  
申上ゲタト云フコトヲ御感ジニナツタラソレハ御断リ致シテ置キマス、穗積  
博士ノ御議論ハ餘ホド注意ヲシテ聽キマシタ、然ルニトウ＼能ク其要領ヲ  
實ハ得マセヌデアリマシタガ、御議論ノ中ニ三十八年ト說ハ變ラナイ、三十  
八年ニ唱ヘタ說ヲ繰返スノデアルト云フコトヲ言ハレマシタガ、誠ニ好イ材  
料デアリマス、昨夜三十八年ノ速記録ヲ引出シマシテ深更マデ見マシタ、實  
ハソレガ爲ニ眼ガ赤クナツタノデアリマス、讀ムノハ僅デアリマスガ、何所  
ニアルカ容易ニ出テ來ナカッタ、私ノ書物ノ整理ノ惡ルイ爲デアリマスケレ  
ドモ……：讀ミマシタ所ガ、コヽラガ御要點デアラウカト云フ所ヲ讀ミマスト  
「國家ガ政務ヲ議セシムルニ適當ナル組織ヲ成スト云フガ眼目デアル」、是ハ  
何モ此論ニチヨット直チニ關係ハ無イ、「各爵ノ人ノ有スル權利トカ利益トカ  
ニ分配シテ定メバナラヌ理由ガ無イ」、シヨデ此論デ見マスト、ドウデモイ  
イ、國家ガ華族ト云フモノヲ議員ニ置カナクテハナラヌコトハナイ、ドウデ  
モ宜イト云フコトニシカ私ニハ解釋ガ出來マセヌ、是モ此案ニ對シテ餘リ必  
要ト認メマセヌ、ソレカラ中ラ抜キマスガ「各爵ヲ適當ニ代表セシムルコト  
ガ國家ノ政務機關ヲ組織スルニ於テ必要ト見タナラバ何モ個々別々ノ人ノ名  
目ヨリ見テ損得利害ハ顧ルニ足ラヌ」云々トアリマス、是ハドウ云フコトカ  
ト云フト、私ノ解釋スル所デハ各爵ノ適當ナル代表人ヲ出スコトガ必要デア  
ツタナラバ唯ソレダケデ宜イケレドモ、個々別々ノドウト云フコトノ利害得  
失ハ無イ、斯ウ云フコトデ、チツトモ此案ニ當ラナイ、ナゼト云フニ、我ミ  
ノ論ズル此案ト云フモノハ各爵ノ代表者ノ數ヲ決メルト云フノガ問題デア  
ル、外ニ問題ハ何モ無イ、然ルニソレハドウデモ宜イト云フ話デアルト、矢  
張リ此案ニ對シテノ御議論トハ失禮ナガラ受取リ兼ネルノデアル、併シ私  
ノ解釋ガ誤ツテ居ルカモ知レマセヌ、ソレデ兎モ角モ穗積君ハタゞサマニ  
總テ事ナゲニ說キツ、アル、昨日モ申サレマシタガ、何デモナイコトデア

ル、サウアナタ方ガ喧マシク言ハヌデモ宜イト言ハレマスガ、問題ハ何者カト云フト、各爵ノ人員ノ問題デアルノニ、斯ウ言ハレル、併シ之ヲ捨テ、仕舞ッタラ問題ハ無イモノト私ハ申スノデアリマス、ソレカラ富井博士ニ對シマシテ、是モ同君ノ御論ニ反對スル前ニ御斷リヲ致シマス、我ミハ世人ト共ニ富井君ハ尊敬措カザル所ノ博士ノ御一人デアル、然ルニ富井君ヲシテ昨日委員會ニ於テ曾我子ノ說ニ對シテハ甚ダ不快ヲ感ズルト申サレマシタ、是ハ私ノ語ガドコゾ不敬ニ涉ツタ所ガアツタ見エマスカラ、謹シテ是ハ御斷リヲ致シテ置キマス、併ナガラ博士ノ昨日ノ御議論ハ遺憾ナガラ感服イタシ兼ネルノデアル、是ハマダ速記録ガ出來マセヌニ依ツテ速記錄ニ據ツテ確實ニ富井博士ノ御議論ヲ解釋スルニ至リマセヌノガ殘念デアリマス、併シ昨日聽取ツタ所ヲ以テシマスト、先ヅ大略ハ言葉ハ餘ホド違ヒマシテモ私ノ承取ツタ趣意ヲ申シマスト、三ツノモノヲ折衷スルトカ、適當ニ配剤スルトカ云フコトデアリマス、三ツノモノヲ適當ニシテ三爵議員ノ員數ヲ決メタラ先ヅ適當デアラウト云フヤウナ御議論ノヤウニ聽キマシタ、三ツノモノハ何デアル、曰ク頭數、曰ク順位、……順位ト云フハ伯子男、コレノコトヲシイト私ハ聽取リマシタ、曰ク現狀、現狀ト言ハレタカ現況ト言ハレタカ、マア現在ノ子爵ハ七十人ト云フ此現在ノ員數ノコトデ、法律カラ言ヘバ現在デハナイガ、即チ今日列シテ居ル諸君ノ數ノコトデアル、此三ツヲ論ハアリマスマイ、即チ按分ハ頭數ニ依ルノデアリマス、第二ノ順位、之ニ付イテハ富井君ガ知ツテ斯ウ云フコトヲナサルコトハナイカラ、是ハ誰デモ異言ハレマシタガ、第一ノ頭數ノコトニ付イテハ御議論ハ無イ、是ハ誰デモ異言ハレマシタガ、第一ノ頭數ノコトニ付イテハ御議論ハ無イ、是ハ誰デモ異言ハレマシタガ、第一ノ頭數ノコトニ付イテハ御議論ハ無イ、是ハ誰デモ異論ハアリマスマイ、即チ按分ハ頭數ニ依ルノデアリマス、第二ノ順位、之ニ付イテハ富井君ガ知ツテ斯ウ云フコトヲナサルコトハナイカラ、是ハ何カ御考へ達ヒカ、御成算ガ出來ナカツタト思ヒマスガ、順位ト云フニ付イテハ先刻此壇デモ誰カ申サレマシタガ、三爵ノ中デハ伯ガ一番身分ガ高イカラ、伯ヲ一番餘計ニシ、子ハ二番目デアルカラ割合ヲ其次ニシ、男ハ三番目デアルカラ、ソレヲ又ソレヨリ減ズル、之ヲ順位トスレバ此案ト申シマスノハ殘念ナガラ伯ト子ノ方ガ逆サマニナルノデアリマス、先刻ヨ、デ御述ベニナサツタ平山君モ是ハ餘ホド御苦シク御氣ノ毒ノヤウニ感ジマシタ、此所ノ御説明ハ御迷惑デアツタト思ヒマス、是ハ小學校ノ子供デモ數ヲ知ツテ居ル子供ヲ申シマスト、現員數ニ於テハ伯爵ハ百人ニ付イテ十七人ヲ出ス、子爵ハ十

八人八分ヲ出スノデアル、男爵ハ十六人五分ヲ出スノデアル、ドレガ一一番多  
イノデアリマスカ、十七ト十八トハドレガ多イカト言ヘバ、十八ガ多イト云  
ルコトハ三ツ子ノ者デモ分ル、然ラバ子爵ガ一番餘計出サナケレバ順位ニ依ツテ  
増スコトハ出來ヌノデアル、平山君ノ御心配ハ御尤モデアリマス、又現狀ト  
云フモノハ如何デアリマスカ、即チ今日ノ子爵ヲ七十人出スト云フノガ現狀  
デアル、何ニ據ツテ採ルカト言ヘバ、是ハ特權デモ何デモナイ、數ニ依ツテ  
割出シタノデアル、算盤ガ命ジタノデアル、ソレ故ニ議員ノ數ハ増スコトナ  
クシテ華族ノ數ガ増セバ自然ノ結果トシテ如何ナル爵デモ……即チ公侯爵ハ  
別デ、三爵ハ自然ノ結果トシテ割合ガ減ラナクテハナラヌ、其割合ヲ平等ニ  
減ジテ行クト云フニハ即チ按分比例ヨリ外ニハ無イ、聽キ得タル如クナラバ  
富井博士ノ御議論モ餘リ淡泊デ餘リ無意味デアルヤウニ思ヒマス、蓋シ是ハ  
聽キ損ナッタカモ知レマセヌ、ソレダケハ御斷リ申シテ置キマス、斯ノ如キ  
理由ニ依ツテ此御議論ニモ服從ハ出來マセヌ、前ニモ申シタ如ク華族ノ數ハ  
此先キモ尙ホ増シマセウ、近年モ増シマシタ、議員ノ數ハ増サナイ、勢ヒ割  
合ヲ減ゼナクテハナラヌト云フコトハ當リ前デアルニ依ツテ、五人デ一人出  
シタノガ五人半デ一人ヲ出シ、六人或ハ七人デ一人ヲ出スト云フコトニナリ  
マセウ、然ルニ何ゾヤ初メノ議員ヲ選ンダ時分、或ハ此先キ議員ヲ選ンダ時  
分ハ其時ノ現在ノ數ニ割付ケタノヲ以テ既得權ノ如ク幾ラ經ツテモ變ヘヌト  
云フノハ、ドウシテモ理窟ガ立タナイノデアル、例ヘバ伯爵ノ如キ、若シヤ  
分公侯爵ニナツタラバ五十人カソコラデ十七人ヲ出スカラ、非常ニ盛ンナ議  
員ヲ出ス割合ニナル、若シ又子爵、我ミノ仲間ガ非常ニ勳功ヲ樹テ、ドンく  
伯爵ノ方ニ命ゼラレタ日ニハ十七人ノ議員ヲ二百人モ三百人モシテ出サナケ  
バナラヌト云フコトハ有リ得ラル、道理デアル、日本ノ華族ト申シマス者ハ  
申スマデモナイ、是ハ釋迦ニ說法トハ此事デアリマセウ、三種類カラ出來テ  
種類ト云フモノハ恐レナガラ 陛下ノ御威徳ノ爲デアリマセウ、打ツテ團ト  
居リマス、元ノ堂上……即チ公卿、大名、ソレカラ維新ノ時分カラ、新ニ命  
ナツテ……私ハ斯ク信ズルノデアリマス、御威徳ノ爲ト思ヒマス、此種族ハ  
ゼラレタ者、大別スレバ斯ノ如ク、小別スレバ澤山アリマスケレドモ、此三  
種類ト云フモノハ恐レナガラ

ノ有様デアル、從ツテ五爵ノ如キニセヨ相和シ相睦ジウシテ居ルノデアル、然ルニ斯ノ如キ案ヲ提出スルト云フハ實ニ是ハ平地ニ波ヲ起スト云フモノデアル、而シテ其必要如何ニト問ヘバ、ドウシテモ分ラヌ、是ハ知ル者ノ外知ラヌ必要デアル、私ドモハ知ラヌ者ノ部デアリマス、知ラヌ者ニハ分ラナイ必要デアル、斯ノ如キ案、平地ニ波ヲ起スヤウナ案ヲ出シテ、サウシテ各爵ヲシテ相敵視セシメ、相對抗セシメ、斯ノ如キ不都合ナ案ヲ出サレルト云フモノハ、實ニ是ハ現内閣ノ大ナル一ツノ失錯ト私ハ斷言スルヲ憚ラヌノデアリマス、若シ又貴族院議員ニシテ此案ノ提出ヲ迎ヘラレタ人ガアリマストスレバ、此御方モ此責ヲ御分チニナラナクチヤナラヌト思ヒマス、私ハ一ツ豫言スペキコトガアリマス、縱シヤ此案ヲ多數ヲ以テ通過シタニシマセヨ、時勢ガ一變シタナラバ忽チ之ヲ覆ヘシテ按分算出ノ公平論ニ復スルト云フコトガ起ツテ來マス、又出來得ルコトデアリマス、斯ノ如クナラバ愈々以テ三爵間ノ平和ヲ攪亂スルト云フ譯ニナル、即チ此案ハ少ナクトモ攪亂ノ種ヲ蒔クト云フコトニナル、果シテ左様ナラバ此失錯ハ一時のノモノデナイ、七年目七年目ニ起ルベキ問題ニナッテ來ル、ドウシテ……桂總理ハ斯ノ如キ見易キ道ヲドウシテ御見落シニナッタカト云フコトハ實ニ殘念ニ思フ所デアル、又云フコトニナル、果シテ左様ナラバ此失錯ハ一時のノモノデナイ、七年目七年目ニ起ルベキ問題ニナッテ來ル、ドウシテ……桂總理ハ斯ノ如キ見易キ道ヲドウシテ御見落シニナッタカト云フコトハ實ニ殘念ニ思フ所デアル、又

ナガラ此身ヲ殺シテ仁ヲ成スト云フ語ニ私淑セムト欲スル者デアル、學バムト欲スル者デアルト言ウテ、アトハ笑ヒ話ニナリマシタ、我ミノ本領トシテ利害ノ爲ニ志操ヲ曲グルト云フコトハ、ドウシテモ出來マセヌ、私ハ此語ニ付イテ「我ミ」ト云フ字ヲ使ヒマス、「私ハ」トハ申シマセヌ、私一人デアリマセヌカラ……曲グルコトハ出來マセヌ、ソレ故ニ此際本員等ハ子爵議員タルコトヲ忘却シ得ルコトヲ甚々自ラ喜ンデ居リマス、子爵議員ト云フコトヲ忘却シタノデアル、忘却シタノデアルコトヲ甚ダ喜ンデ居リマス、私ドモハ……サリナガラ此帝國議員……貴族院議員タルコトヲ益々覺エテ居ルノデス、貴族院議員ノ職ニ對シテハ不肖ナガラ我ミハ益々忠實ニ務メムコトヲ期シテ居ルノデアリマス、「ヒヤー」と呼フ者アリ若シ子爵議員諸君ニシテ吾人ト志ヲ同ジウスル人ガ今少シク多カッタナラバ此案ハ通過セザルノミナラズ明カニ此議場ニ提出サレヌト云フコトヲ私ハ固ク信ズルノデアリマス、或ハ諸君ノ中ニモ心中或ハ我ミニ御同情ナサル御方モ必ズアルト信ジテ居リマス「然リト呼フ者アリ」之ヲ要シマスルニ第一ニ本員ノ議論ハ憲法附帶ノ法ハ容易ニ動カスベカラズ、然ルニ總理ハ之ヲ口ニ言ヒナガラ其手ヲ以テ此案ヲ出スコトハ抑々何事デアルカ、況ヤ人モ申ス通り一度ダモ此現行法ノ事實ニ行ハレテハ居ラヌモノヲバ廢スルト云フハ、何事デアルカ、幾ラ口ニ憲法附帶ノ法令ハ大切ダト言ウテモ、自分自ラガスノ如クシテ誰ガ之ヲ大切ト思ヒマセウ、大切ニ自分ハシナイデ、オレハ大切ニセヌ、貴様ハ大切ニセヨ、ソノマスクレドモ、或ハ適中スルヲ悲マザルヲ得ヌコトニナリマセウ、私ハ御承知ノ通り、年モ此クラキ取ツテ居リマスカラ、餘命モ格別無イコトデアルカ、是ヨリ起ル所ノ弊害ノ多キヲ見ナイカモ知レマセヌ、併シ研究會、木曜會ナドニハ若イ有爵者ガ澤山居ラツシヤイマスカラ、或ハ此豫言ヲ目ノ前ニ見ル御方ガ必ズアラウト思ヒマス、若シモ御覽ナサッタ時分ニハ、曾テ曾我ガ貴族院デ斯ノ如キコトヲ言ツタト云フコトヲ御感想ナサルデアラウト云フコトヲ申置キマス、私ハ重ネテ茲ニ明言シマス、此案ハ間違モナク子爵ニ私スル案デアリマス、「其通リ」ト呼フ者アリ之ニ付イテ面白キ御話ガ一ツアリマス、昨夜或ル所デ内閣大臣ノ一人ト會食ヲ致シマシタ、其時分ニ其大臣ガ言ハレルニ、君ハ子爵デヤナイカ、子爵ニ利益多キ今度ノ案ニ反対スルト云フモノハ、ソレハ自殺デハナイカ、私之ニ答ヘテ如何ニモ自殺デアル、誠ニ自殺デアル、併シ古語ニ身ヲ殺シテ仁ヲ成スト云フコトガアル、私ハ不肖

屹度ヤルゾト云フ人ガアル「アル／＼ト呼フ者アリ」私ハ決シテ桂内閣ノ此案ノ爲ニ諸君ノ希望ヲ絶ツコトガ出來ヌト思フノデアル、不公平デアリマスカラ、元來ガ……無理デアリマスカラ、此案ハ……或ハ恐ル、遂ニ永久的ニ各爵間ノ議論ニハナラヌカト實ニ悲ムノデアリマス、本員ノ否決ノ理由ノ大體ハ右ノ様デアリマス、而シテ前キニ述べタル所ノ某大臣ノ言ハル、自殺演説ガ是デアリマス、即チ是デアリマス、而シテ之ト同時ニ、此演説ハ曾我子爵ノ演説デハアリマセヌ、曾我貴族院議員ノ演説デゴザリマス

○議長(公爵徳川家達君) 江木千之君

〔江木千之君演壇ニ上ル〕

○江木千之君 本員ハ此貴族院令改正案ニ付キマシテハ、此改正案ニ付キマシテ、或ハ是ハ政府ガ子爵ニ私スルモノデアルト云フヤウナコトハ、第一讀會ノ當時ヨリ耳ニ入ルヤウナコトデアリマスルシ、又或ハ之ニ反対セラル、ノハ政府ニ反抗スル爲デアルト云フヤウナコトヲ一方カラ申サル、コトモ耳ニ這入ルノデアリマスルガ、併シ此案タルヤ、憲法附帶ノ法令ニシテ、實ニ重大ナルモノデアリマスルカラ、斯ノ如キ種々ノ感情ヲ以テ此案ヲ議スルト云ウテハ、遂ニ議論ノ正鷄ヲ失スルヤウナコトニモナルデアラウ、ドウカ是ハ虛心坦懐以テ之ヲ審議シタイト云フ考ヲ有スルノデアリマスル、ソレデ此伯子男爵ノ議員ノ配當ニ付イテハ、理想的ナ最モ理窟ニ適ウタ方法ガアリハシナイカ、其理想的ノ方法ヲ見出ダシテ、サウシテ將來ニ永ク此紛議ヲ絶ツヤウナ方法ハ無イデアラウカト云フコトヲ本員ハ此案ヲ發セラレテ以來、其點ニ就イテ深ク致究ヲシテ見タノデアリマスル、種々ノ感情ナドハ少シモ頭ノ中ニ置カズ、理想的ニシテ、理想的ノ方法ニシテ、ドウ云フ方法ガアルデアラウカト云フコトヲ本員ハ研究イタシテ見タノデアリマスル、此理想的ノ配當法ヲ見出ダスニ付キマシテハ、先づ貴族院令ノ全體ヲ見渡シマシテ、第一ニ公侯爵ハ如何ナル取扱ニナッテ居ラル、所ノタゞ伯子男爵ノコトノミデナク、貴族院令ノ全體ニ涉ツテ先づ以テ公侯爵ハドウ云フ取扱ニナッテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見タノデアリマスルガ、御承知ノ如ク公侯爵ハ世襲ノ議員デアル、公侯爵ハ殘ラズ貴族院ニ列スルト云フコトノ立テ前ニナッテ居ルノデアリマス、唯今曾我子爵ノ申サレマシタヤウニ、此各爵ノ關係ヲ色ニ説クノハ謂ハユル釋迦ノ前ノ説法デハアリマスルガ、議論ノ順序トシテ是モ一應申上ダナ

クテハナラヌト考ヘマスルガ、先づ此「キミ」公爵ノ事ハ暫ク措キマシテ「サフラフ」侯爵ハ舊大藩ノ諸侯及之ニ相當スル公卿等デアリマスル、又伯爵ハ舊大藩ノ諸侯及之ニ相當スル公卿等デアル、子爵ハ舊小藩ノ諸侯及之ニ相當スル所ノ公卿等デアル、男爵ハ舊大藩ノ家老、其他之ニ相當スル家柄ノ者ト云フヤウナル所カラシラ、此爵ノ階級ヲ設ケラレタノデアリマスル、サウシテ侯爵即チ大藩ノ諸侯等ニ當ル所ノ階級ハ是ハ世襲議員ニシテ、悉ク此議場ニ列スルト云フコトニナリマス以上ハ、之ニ次グ所ノ伯爵、伯爵ハ侯爵ニ次グ取扱ヲ受ケルト云フコトガ、最モ理ニ適ツタモノデアラウト思フノデアリマスル、子爵ハ伯爵ニ次ギ、男爵ハ子爵ニ次グ、斯ウ云フ順序ニナルベキモノデアラウト考ヘルノデアリマスル、是ハ純然タル理窟デアラウト考ヘルノデアリマスル、ソレガ果果シテ理窟デアリマスルナラバ、此理窟ニ依ツテ議員ノ數ヲ割當テルニハ如何ニシタラバ宜シイカト申シマスルニ、侯爵ヲ四分ノ四、即チ全數ガ議場ニ列スル以上ハ之ヲ四分ノ四ト見ナクテハナラヌ、左スレバ伯爵ハ四分ノ三分出シテ宜シイ譯ニナル、子爵ハ四分ノ二ヲ出シテ然ルベキデアル、男爵ハ四分ノ一ヲ出スト云フ順序ニナルベキデアリマスル、デ斯様ニ論ジテ見マスルト、是ハ如何ニモ理窟ノ合ツテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマスルガ、サテ之ヲ實數ニ當嵌メテ見マシテ、ドウ云フ關係ニナクテハナラヌ、子爵ハ七十五人デナクテハナラヌ、男爵ハ三十八人ニ減ズル、ハ三十人ト云フコトヲ見マスルト、唯今ノ比例デ割出シテ見マスルト、伯爵ノ數ハ三十人ト云フコトヲ見マスルト、百四十三人ヲ總數ト見ルト伯爵ハ三十人ナクテハナラヌ、子爵ハナラヌカト云マスルト、ドウモ今日ノ現状ニ比較シテ見ルト甚シキ相違ヲ生ズルノデアル、現狀ヲ破壞スルコトガ實ニ甚シイノデアル、大ニ現狀ヲ變動スルトメテ見マスルト、ドウモ今日ノ現状ニ比較シテ見ルト甚シキ相違ヲ生ズルノデアル、此儘之ヲ實際ニ行フト云フコトハ穩カナラヌコトデアルト云フ考ガ起ツテ參ルノデアリマス、ソレデ此現狀維持ト云フコトハ是亦一ツノ理窟デアルト云フコトヲ本員ハ見出シタノデゴザイマスル、ソレデ此理想的ノ配當法ハ是ハ實際ニ行ハレ難イモノト致シマシタナラバ、次ニハ如何ナル方法ニ依ツテ宜シイカ、現行法ハドウデアルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルノニ、

現行法ノ按分比例ニ依ルト云フ例ハ本員ハ最モ不條理ナモノデアルト考ヘルノデアリマスル、即チ先刻理想トシテ申シマシタ伯爵ハ侯爵ニ次グ所ノ待遇、取扱ヲ受ケ、子爵ハ伯爵ニ次ギ、男爵ハ子爵ニ次グト云フ、斯ウ云フ主義ハ此按分比例ニ據ル唯今ノ制度ニ依リマスルト全ク破壊サレテ仕舞フノデアリマスル、是ハ既ニ演説モアリマシタ通リ百四十三人ヲ議員ノ總數ト据エ置イテ、サウシテ各爵ノ員數ニ之ヲ割當テルト云フコトニナリマシタナラバ、今日ハ伯爵議員ガ十七人デアリマシテモ、男爵議員ガ殖エルニ從ツテ此伯爵議員八十名ニ減ジ、七名ニ減ジ、五名ニ減ズルカモ知レヌノデアリマスル、子爵モ亦サウ云フヤウナ有様ニナツテ參ラウト考ヘルノデアリマスル、畢竟此爵ニ階級ヲ立テラレタ所ノ趣意ハ沒却サレテ仕舞フ、又貴族院令ノ全體カラ考ヘテ甚ダ不條理ニナルノデアリマスルカラ、此按分比例ニ依ルト云フコトハ到底是ハイカナイコトデアルト本員ハ考ヘルノデアリマスル、即チ現行令ハ何レニシテモ之ヲ改正ヲシナクテハナラヌモノト確信スルノデアリマスル、然ラバ其他ニ如何ナル方法ガアルカト申シマスルト、是ハ本案ガ若シ第二讀會ニ移ルト云フコトニナリマシタナラバ其際修正案トシテ御提出ニナルコトデアラウト考ヘマスルガ、本員ハ配當法ノ全體ニ就イテ攷究シタコトヲ御話シ致スノデアリマスルカラ、唯今此修正ノ意見ニ就イテモ是レハ採ルベキデアルカ採ルベカラザルコトデアルカト云フコトヲ唯今茲ニ述べナクテハナラヌノデアリマスルカラ、ドウカ暫ク御清聴ヲ願ヒタイト考ヘマス、其修正ノ意見ト云フモノヲ如何ニシテ承知シテ居ルカト申シマスルト、議員ノ或ル部分カラ本員ニ書面ヲ送ラレテ、ソレニ依ツテ其修正ノ意見ヲ知ルコトガ出來タノデアリマスルガ、是ハ松岡康毅君外數名デアリマスル、是ハ便宜ノ爲ニ暫ク本員ハ扶桑會ノ修正意見ト假ニ名ヅケマス……イヤ、一ツハ木曜會ノ修正意見ト假ニ名ヅケマス、モウ一ツハ扶桑會ト云フ印判ヲ捺イテ送ラレタノデアリマスルカラ是ハ無論、扶桑會ノ修正意見デアリマスル、此修正意見ト云フモノニ依ツテ見マスルト唯今ノ子爵議員ハ現在ノ儘デ置ク、既得ノ員數ト云フコトガ書イテアリマス、既得ノ數ト云フノデアルカラ、是ハ今ノ儘デ置ク、併ナガラ子爵議員ヲ現在ノ儘デ置ク以上ハ伯爵議員モ男爵議員モ按分比例ニ依ツテ、此例ニ依ツテ增加シナクテハナラス、即チ伯爵議員モ十九人ニスル、男爵議員ヲ七十名ニスルト云フ、斯ウ云フ修正意見デアリマスルガ、是ハ目下一時ハ理窟ニ合ツタヤウニ考ヘラレマスガ、到底是ハ理

窟トシテ將來ニ貫クコトハ出來ナイ意見デアルト本員ハ考ヘルノデアリマスル、何故ト申シマスルノニ、唯今按分比例ニ依ツテ居リマシテモ、男爵議員ガ殖エレバ又殖ヤサナクテハナラス、從ツテ他ノ部分モ殖ヤサナクテハナラヌト云フコトニナリマスルガ、貴族院議員ヲ有爵者ガ增加スルニ從ツテ際限ナク増シテ行クト云フコトハ、是ハ到底ナシ得ラレヌコトデアラウト考ヘマス、今タゞ一時ノ理窟デアル、一時ノ理窟ト見エテモ到底是ハ將來ニ貫クコトガ出來ヌト云フコトハ斷言スルコトガ出來ルト思ヒマス、然ラバ是ハ總數ヲ限ツテ、サウシテ其按分比例デ出スト云フコトニ此案ハ陷ラナクテハナリマセヌガ、サウナリマシタナラバ此案ハ矢張リ按分比例論ニ過ギナイ、按分比例ノ不適當ナルコトハ前キニ既ニ申述ベマシタル通リデアリマスル、ソレデ此修正意見ト云フモノハ此二點ニ於テ本員ハ決シテ同意スルコトガ出來ナインデアリマスル、然ラバ他ニ良い方案ガアルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルノニ、本員ハ他ニ良い方案ヲ見出ダスコトガ出來ナイノデアリマスル、茲ニ於テ政府ノ提案ハ如何デアルカト云フコトヲ分析シテ見マスルト、政府ノ提案ハ現狀ヲ維持スルト云フコトデアリマスル、此現狀ヲ維持スルト云フコトハ、曩ニ理想的ノ配當方法ヲ描イテ見テ、是ハドウモ實行上ムツカシイ、實行上穩カデナイ、現狀ニ餘リ遠ザカルコトハ出來ナイト考ヘマシタノデ、此現狀ヲ維持スルト云フコトガ一ツノ道理デアルト本員ハ信ズルノデアリマス、此點ニ於テ此政府ノ提案ニハ本員ハ同意ヲ表スルノデアリマスル、ソレカラ第二ニハ政府ノ提案ハ現行制度ノ按分比例ト云フコトヲ廢メテ仕舞フト云フコトデアリマス、此按分比例ノ制ヲ續ケルト云フコトハ本員ハ甚ダ宜シカラス、是ハ貴族階級ヲ設ケラレタ趣意ニモ適ハヌノデアル、貴族ノ階級ハ即チ申スマデモ無ク……陛下ノ定メラレタル國家ノ一ツノ秩序ニナツテ居リマス、此秩序ニ適ハヌ所ノ法案ハ一日モ早ク是ハ改メテ仕舞ハナクテハナラヌト考ヘルノデアリマスル、政府ノ提案ニ付イテハ此二點ニ於テ本員ハ同意ヲ表スルノデアリマス、尙ホ之ニ附ケテ申シマスルノハ、唯今會我子爵ガ述ベラレル所ヲ承リマスト、或ル内閣大臣ニ子爵デアルカラ云々ト云フコトヲ申サレタト云フヤウナコトデアリマスガ、是等ノ話ハケシカラヌコトデアルト本員ハ考ヘルノデアリマスル、斯ノ如キ言ヲ内閣大臣ガ發スルナド、云フコトハ甚ダ本員ナドノ此論ヲ主張スル上ニ付イテモ大ニ妨ゲニナルノデアリマス、ドウカ是ハ種々ノ感情ヲ取去ツテ虛心坦懐、此貴族院ノ規則ヲ定メ

ルコトヲ審議イタシタイト本員ハ考ヘルノデアリマスル、デ決シテ今日、伯爵子爵男爵候爵各々有セラル、所ノ爵ハ申スマデモ無ク、唯是ハ諸君ガ私セラルベキ貴族ノ階級デハナイノデアル、一ノ秩序デアリマスカラ、子爵デアルカラ云々、伯爵デアルカラドウデアルト云フ御考ナク、忌憚ナク是ハ論究ニハ伯爵ハ子爵ノ上デアルカラ、是ダケノ數ヲ當嵌メテモ不可ナルコトガ無カラウト云フコトガ書載セテアリシタガ、本員ハ是ハ至極御尤モノコトデアルト考ヘル、上級ノ爵ヲ有セラル、人ハ斯ノ如キ考デナクチヤナラヌト考

ヘルデアリマスルガ、唯惜ムラクハ其前ヲ見マスルト、現在ノ法令デ差支ハナイ、是ハ改正シテカラ未ダ一回ノ選舉ニモ適用シナイノニ、モウ改メルト云フノハ朝令暮改デアルト云フヤウナコトヲ書イテアリマスルガ、是ハ扶桑會ノ方々ハ餘り輕々ニ立論ナサルノデハナイカト、本員ハ考ヘタノデアリマスル、詰リ現行法ノ按分比例ト、伯爵ハ子爵ノ上デアルカラ相當ノ配當ヲ受ケテ宜シイト云フノハ是ハ撞著スルノデアリマス、ドウゾ前段ノ如キ議論ハ御取リ止メニナッテ、伯爵ハ子爵ノ上デアルカラ相當ノ配當ヲ得ナクテハナヌト云フ議論ヲ御貫徹ニナラムコトヲ希望スルノデアリマス、本員ハ要スルニ此政府ノ提案ハ完全ナルモノトハ認メマセヌ、ガ唯今現ハレテ居ル所ノ案ノ中デハ比較的宜シキヲ得タモノデアルト考ヘルノデアリマスル、且又此政府ノ提案ハ將來時々變更スルト云フ意味ハ少シモ無イノデアリマス、是デ各爵ノ議員ノ配當ヲ一定シテ將來容易ニ動カサヌト云フコトハ此紛議ヲ避ケル基デアラウト考ヘマスルカラ、是等ノ點ニ於テ本員ハ政府ノ提出ノ案ヲ贊成イタスノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 暫ク休憩ヲ致シマス

午前十一時四十六分休憩

午後一時六分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、午前ニ御委託ニ相成リマシタ特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長讀朗〕

輸出菓子糖果原料砂糖戻税法案特別委員

伯爵柳澤 保惠君 子爵松平 乘承君 子爵京極 高徳君

子爵稻垣 太祥君	男爵尾崎 三良君	男爵本多 政以君
山本達雄君	廣海二三郎君	松村時次君
伯爵川村 鐵太郎君	男爵松平 正直君	男爵小原 適君
渡正元君	千坂高雅君	藤田四郎君
加藤正惠君	大谷嘉兵衛君	日高榮三郎君

産業組合法中改正法律案特別委員

伯爵川村 鐵太郎君	男爵松平 正直君	男爵小原 適君
渡正元君	千坂高雅君	藤田四郎君
加藤正惠君	大谷嘉兵衛君	日高榮三郎君

○議長(公爵徳川家達君) 鎌田榮吉君

〔鎌田榮吉君演壇ニ登ル〕

○鎌田榮吉君 私ハ此案ニハ反対者ノ一人デアリマス、政府ガ此案ヲ出サレマシタノハ如何ナル趣意ニ依ツテ出シタモノノデアルカト云フコトハ、隨分委員會ニ於テモ委員諸君ヨリ御質問ガアリマシタガ、頗ル其要領ヲ得ヌコトハ先刻來諸君ノ述べラレタ通リデアリマスガ、全體此桂内閣ガ三十八年ニ於テ貴族院議員ノ、此有爵者議員ノ總數限定ト云フモノヲ定メラレテ、從ツテ是ガ按分比例デ以テ其定限以内ノ議員ヲ三爵議員ヨリ選舉スルト云フコトデ、各爵ヨリ議員ヲ選舉スル、斯ウ云フコトニナッテ、而シテ是ガ未ダ一回モ實行シタコトガナイ、來ル四十四年ニ於テ總選舉ニ當ツテ始メテ之ヲ行フト云フ、其今日、而カモ尙ホ短カラヌ所ノ時ヲ餘斯所ノ今日ニ於テ、突然之ヲ變更スルト云フ……其變更スルハ即チ申スマデモナク男爵議員ノ數ニ於テ七名ヲ加ヘテ、サウシテ兼ネテ現行法ニ於テ規定セラレテ居ル所ノ此限定即チ輪廓ヲ破ルト云フコトヲ爲サレタノデアル、ソレニ付イテ贊否種々御論ガアリマシタ、併ナガラ私ノ考デハ少シク此原案贊成論者ノ根柢ニ於テ甚ダ明確ナル御考ガ決マツテ居ラヌヤウニ思フ、今日此貴族院ノ組織ヲ見マスルト云フト、先づ有爵者、又多額納稅者、ソレカラ勅選議員、要スルニ門地、財產、又學識、功勞、此四ツノ者ヲ集メテ貴族院ナルモノガ組織セラレテ居ルノデ、其中ニ即チ此門地ヲ代表スル所ノ公侯伯子男ト云フ此團體ニ於テ、如何ナル主義ニ依ツテ行ハレテ居ルカト云ヒマスト云フト、公侯爵ハ世襲議員デ、伯子男ハ即チ選舉ヲシテ代表人ヲ出スト云フコト、要スルニ自己列席ト代表列席ト此二ツノ主義ガ結ビ付イテ有爵者ヲ貴族院ニ列席セシムルト云フコトニナッテ居ルノデアル、無論公侯爵モ他ノ爵ノ如クニ非常ニ多人數ガアリマシ

タナラバ、今日ノ制度ハ實際ニ行ハレスコトデアラウト思フ、全ク公侯爵ハ此格式ノ貴キノミナラズ、如何ニモ其數ハ多クナイ、多クナイ故ニ自己列席ト云フコトガ行ハレル、他ノ三階級ニ於テハ到底自己列席ハ實際ニ行ハレ難イト云フ爲ニ代表人ヲ出スト云フコトニナツテ居ル、然ラバ此代表人ヲ出スニ付イテハ、必ズ一ノ率ニ依ツテ出スト云フコトガ當然ノコトデアル、即チ按分比例ト云フノガ是ハ如何ニモ公平ナル穩當ナル率デアラウト考ヘル、然ルニ子爵ノ一階級ニ於テ其比例ヲ多クスル、全ク各爵代表ノ原則ニナツテ居ル、穩當ト云フコトハ、ドウ云フコトデアルカ、或ル一階級ニ多クノ率ヲ與分比例ヲ破壊シテ或ル一級ニ數ヲ増ス、先ヅ之ヲ率ニ立テルト云フト色ニト變ツテ参リマスルガ、マア如何ニモ道理ノ無イコト、モト代表ト云フコトハ其階級ニアル人ミガ……伯子男ノ各爵ノ人ミガ皆代表セラレテ……貴族院ヲ代表セラレテ居ル、五人ニ付イテ一人ヲ出セバ則チ議員ノ五分ノ一ハ自分が持ツテ居ルト云フコトガ即チ代表ノ原則デアラウト考ヘル、決シテ此伯爵ガ幾人アル、子爵ガ幾人アル、ドレガ多イ、少ナイト云フコトハ……議員ノ數ハ全ク因ツテ起ル所ノ各爵ノ人數ニアルコトデアリマシテ、議員ガ目的デナクツテ、代表セラル、所ノ選舉人ヲ……此自ラセズトモ代表人ニ依ツテ選舉人ヲ代表セラレテ居ルト云フコト、即チ議員諸君ハ已レノ出テ居ル選舉區……選舉區ト云フト少シ語弊ガアリマスケレドモ……代ツテ此議場ニ列席シテ居ルト云フコト、之ヲチョット例ヘテ申スト、伯子男ノ各爵ハ一ノ選舉區ノ如キモノデアル、全體ニ於テ百四十三名ノ議員ヲ選ブノニハ便宜上、伯爵子爵男爵ト云フ此各區ニ分ケテ、各區ヨリ此率ニ從ツテ按分比例ニ議員ヲ出シテ行クト云フコトハ如何ニモ當然ノ話、若シ伯爵ガ非常二人數ガ減少シタナラバドウナルカト云フ御説モアリマシタケレドモ、是ハ最モ少ナクナレバ即チ自己列席ノ方ニ變更シテモ差支ナイノデアル、上級ノ爵ナルガ故ニ下級ノ爵ヨリモヨリ多クノ議員ヲ出スト云フモト原則ニナツテ居ラナイ、或ル爵ハ全ク人數ガ無クナツテ仕舞ヘバ從ツテ議員モ出ナイノハ當然ノコトデ、又非常ニ減少スレバ自己列席ト云フコトモ實際ニ於テ行ハレ得ルコトデアリマスカラ、決シテ此出ル所ノ人數ヲ爵ノ等級ニ依ツテ區別ヲ付ケルト云フコトハ、モトノ此貴族院組織ノ原則ニ違ツタコト、私ハ信ジテ居ルノデ、ドウシテモ自己列席必然ラザレバ代表列席、此代表列席ヲ總定限數以内ニ於テ按分比例ニ依ツテ或ル時期ヲ以テ之ヲ選出スルト云フコトハ、是ハイツマデ經ツテモ變ラザル當然ノ法則デアラウト私ハ考ヘル、然ラバ之ヲ以テ公平ト言ハザ

ルヲ得ヌ、所ガ總理大臣モ之ヲ以テ公平ト考ヘタレバコソ、今度ノ原案ヲ出サレタ、併シ我ハ飽クマデモ按分比例ヲ以テ公平ナルモノト考ヘル、公平ト云フコトニ於テニツアラウ譯ハナイ、ソレデ又總理大臣ハ是ハ公平デナイト言フナラバ言フベシ、我ハ之ヲ穩當ト考ヘル、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ル、穩當ト云フコトハ、ドウ云フコトデアルカ、或ル一階級ニ多クノ率ヲ與シメルト云フコトハ忍ビナイカラ、此七十名ヲ減ゼ居ル、此次ノ總選舉ニハ之ヲ減ズル割合ニナツテ居ルカラ、此七十名ヲ減ゼアル、併シ之ヲ以テ現狀維持トハ言ハレナイ、原則カラ言ヘバ六十三名ニ減ジテ……次ノ總選舉ニ於テ六十三名ニ減ジテ男爵モ亦六十三名ヲ維持スルト云フコトナラバ、之ヲ稱シテ現狀維持トモ言ハレマスケレドモ、特ニ男爵ノ云フコトナラバ、斯ノ如キコトヲ穩當ト言ハレルコトハ不穩當ノ最モ甚シキモノアル、併シ之ヲ以テ現狀維持トモ言ハレマスケレドモ、特ニ男爵ノ變更シヤウト云フノニハ種々已ムヲ得ザル所ノ事情ガアツテ之ヲ爲スナラバ尙ホ可ナリ、何等此變更ヲ要求スル所ノ事情モ起ラナイノニ、殊ニ一回モ之ヲ實驗セザル今日ニ於テ、突然之ヲ變更スルト云フコトニ至ツテハ、甚シキ不穩當デアル、不穩當ノ甚シキモノデアル、先づ是等ノ變更ヲ要スルナレバ、必ズ此貴族院内ニ於テハ無論ノコト、社會ニ於テモ現制度ハ甚ダ不都合デアル、現制度ニ於テハ云々斯クノ弊害ヲ生ズル、現制度ニ於テハ斯ノ如キ不公平ナルコトニナルト露々ト輿論ガ起ツテ、而シテ社會ニモ其論ガ起り、貴族院内ニ於テ無論此論ガ起ツテ來テ、而シテ政府ハドウシテモ此院内ノ議論又世間ノ聲ト云フモノハ尤モデアル、是非之ニ應ジテ相當ナル施設ヲナサネバナラヌト云フ必要ヲ感ジタキニ、貴族院令變更ノ案ヲ出サル、ト云フコトナラバ是ハ已ムヲ得ナイ、政府ナルモノハ先づ通常慎重ノ態度ヲ保ツテ、甚シキ已ムヲ得サル事情ガ起ラナイ以上ハ、現狀ヲ維持スル、現行法ヲ飽クマデモ維持スル、假令議員間ヨリ或ル法律ノ變更、又ハ勅令ノ變更ヲ希望スモトノ此貴族院組織ノ原則ニ違ツタコト、私ハ信ジテ居ルノデ、ドウシテモ自己列席必然ラザレバ代表列席、此代表列席ヲ總定限數以内ニ於テ按分比例ニ依ツテ或ル時期ヲ以テ之ヲ選出スルト云フコトハ、是ハイツマデ經ツテモ變ラザル當然ノ法則デアラウト私ハ考ヘル、然ラバ之ヲ以テ善良ナリト信ゼザルトモ、一回ノ選舉ハ之

ニ依ッテ少ナクモ行ウテ見ヤウト云フ輿論デアル、或ハ内密ニ於テハ即チ今日ノ貴族院令ハイケナイカラ、之ヲ變更シタイト云フコトノ希望ヲ有ッテ居ル方モアルカモ知レナイ、ソレナラバ何故ニ之ヲ正々堂々議院ニ訴ヘ此議場ニ於テ論評シ、政府ニモ之ヲ説キ、天下ニ向ッテ呼號セヌカ、ソレヲスルト云フコトガ當然デアル、輿論ニ問ウテ是非コレガ公平デアル、至當デアルト云フコトナラバ、茲ニ變更ヲ案出スルコトモ宜シノデアリマスガ、是等ノ事情ハ少シモ聲ノ無イ、是等ハ全ク聞カナイ、ノミナラズ何等ノ事情、何等ノ變化、何等ノ必要モ無キニ、突然斯ノ如キ疾雷耳ヲ掩フニ遑アラザル所ノ大變ナ騒ギヲ起シテ來タト云フノハ、是コソ非常ニ不穩當ノコトデアル、是ガ穩當ト云フコトハ私ハ解シ得ナイノデアル、非常ナル不穩當ナル處置ヲノデアルト云フコトヲ、私ハ茲ニ斷言スル、又凡ソ法律ヲ改メ、勅令ヲ變更ナサッタコトデアル、非常ナル不穩當ナル事ヲ爲シ遂グラレムトスル所ノモノデアルト云フコトヲ、私ハ茲ニ省ミル所アツテ、之ヲ御撤シヤウト云フニハ、現行法ニ於テ相當不道理ノ點、又相當實際ニ行フベカラザル所ノ點ヲ指摘シテ、斯ノ如キ弊害ガアル、斯ノ如キ不都合ガアル、斯ノ如キハ、理窟ニ於テハ宜シイガ、實際ニ於テ行フベカラザルモノデアル、故ニ之ヲ變更シヤウト云ウテモ、全體現行法ヲ廢シテ、第二ノ方法ニ移ルト云フコトハ、隨分慎重ナル考ヲ要スルコトデアル、容易ニ行フコトデナイ、然ルニ此不道理ナル所ノ……道理アル所ノ……

道理アル所ノ現行法、然ルベキ所ノ定限數以内ニ於テ、相當ノ選出率ヲ設ケタル所ノ、按分比例ノ此道理アリ、又實際ニ於テ最モ行フニ便利ナル所ノ、何等故障ノ無イ、何等弊害ノ無イ所ノ完全無缺トハ行カナイカ知ラヌガ、先づ常識ヲ以テ判断シテ宜シト我ミガ認ムル所ノ此現行法ヲ破壊シテ、常識ニ於テ殆ド判ズベカラザル所ノ、此不都合ナル法案ニ變ハラウト、斯ウ云フノデアル、是ガ多數ノ人ノ同意ヲ得ヤウハナイ、若シ是等ノ不穩當ナル處置ニ向ッテ、多數ノ同意ヲ得ラル、ナラバ、私ハ此多數ナルモノハ、甚ダ信賴スルニ足リナイノデアルト思フ、即チ此各爵ナルモノ、伯子男ノ各爵位ハ、是ハ名譽ノ相違ハアリマセウ、或ハ宮中ノ順次ハデモナイ、法律上ニ於テ何等ノ相違ノ無イコトハ勿論ノ事デアル、政治上ニ於テ是ガ何ノ關係ガ有ルカ、政治上ニ於テ、伯爵ナルガ故ニ云々、子爵ナルガ故ニ云々、男爵ナルガ故ニ云々ト言ツテ、此天下ノ法ヲ議スル所ノ立法府ニ於テ、

爵ノ違ヒト云フモノニ何ノ意味ヲ有ッテ居ルカ、少シモ關係ノ無イコトデアルカモ知レナイ、ガ此法律上ニ於テハ何等相違ノ無イト云フコトハ申スマモナイ、法律上ニ於テ何等ノ相違ノ無イコトハ勿論ノ事デアル、政治上ニ於テ是ガ何ノ關係ガ有ルカ、政治上ニ於テ、伯爵ナルガ故ニ云々、子爵ナルガ故ニ云々、男爵ナルガ故ニ云々ト言ツテ、此天下ノ法ヲ議スル所ノ立法府ニ於テ、

爵間ノ感情ヲ害シ、又將來之ガ爲ニ甚ダ面白カラヌ所ノ影響ヲ及ボスコト、考ヘマスカラシテ、私ノ希望スル所ハ政府ハ茲ニ省ミル所アツテ、之ヲ御撤回ニナルコトガ最モ私ガ希望スル所デアル、決シテ過ヲ改ムルニ憚ル勿レデ、全ク斯ノ如キ案ヲ出サレタト云フコトモ、惡ルイ考デハナイ、必ズ其時ハ男爵ガ大層殖エテ來ル、此儘デハ少シ率ガ面白クナイカラ少シ殖ヤサウト云フ、極々其時ハ諸君ノ決シテ臆測スル如キ面白カラザル所ノ動機カラ起シタノデハナクツテ、甚ダ淡泊ナル……桂總理大臣ノ言ハレル如ク誠ニ淡泊ニ是ハ穩當デアルト、ヒヨツト考ヘタコトガ此法案トナッタノデ、決シテ是ハ或運動ノ結果、或ル卑劣ナル動機ノ結果カラ來タト云フノハ是ハ餘り穿チ過ギタコトデ、私ハ即チ自分が愚直ナルガ故ニ、斯ノ如キ猜疑心ヲ以テ人ヲ見ルト云フコトハシマセヌ、然ラバ斯ノ如キ無考ヘデアツタ、斯ノ如キ淡泊ナル考デアツタカラ、今茲ニ撤回スル、斯ウ云フコトニ淡泊ニ願ヒタイ、何モ執拗ニ言張ツテ是非、非ヲ遂ゲナケレバナラヌト云フコトハナイノデアリマセウ、之ヲ撤回スルト云フコトニナレバ、實ニ風波治マツテ和氣霑々タル中ニ此局ヲ結ブコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ之ヲ爲サラヌデ飽クマデモ之ヲ決行シヤウト云フ御決心ナラバ、是ハ私ハ敢テ論ジナイ、其結果ハ如何ナルモノニナルカ、貴族院モデス、今年ノ如ク政府モ隨分難局ニ處セラル、ノデアリマスカラ、成ルベク和衷協同ノ實ヲ盡シテ、些々タルコトニハ議論ヲ挾マズ、豫算其他ノ大切ナル、重要ナル法案ハ此議場ニ殆ド何等ノ分裂ヲ見ズシテ通過シタノデアル、誠ニ是ハ賀スベキコトデアル、併ナガラ若シ之ヲ斯ノ如キ不當ナル、不穩當ナル所ノ法案ヲ敢テ決行セラレムトスルナラバ、今日以後ノ貴族院ノ光景ハ今日マデノ貴族院ノ光景ニ比シテ如何ナル變化ヲ起ス

- キマシテモ、十分御反省ニナリマシテ、斯ノ如キ不當ナル、斯ノ如キ不穩當ナル案ヲ穩當ト云フ名ノ下ニ可決スルガ如キ過チヲ犯サラムコトヲ私ハ此滿場ノ議員諸君ニ向ツテ希望スルノデアリマス、是ハ誠ニ簡単ナコトデアリマシテ、敢テ縷々理窟ヲ申述ブル必要ハ無イノデアリマスカラシテ、唯私ノ熱誠ナル希望ヲ茲ニ吐露イタシマスルダケノコトデアリマス
- 議長（公爵徳川家達君） 田男爵  
〔男爵松平正直君「討論終結ノ動議ヲ提出イタシマス」ト述フ〕
- 〔賛成賛成ト呼フ者アリ〕
- 議長（公爵徳川家達君） 田男爵ニ發言ヲ許シマシタ
- 男爵田健治郎君 私ハ通告ヲ致シテ置キマシタガ、既ニ第二讀會ヲ開クト云フコトニ御改メニナリマシテアリマスカラ、第二讀會ニ於テ若シモ修正説ガ出レバ其節ニ登壇イタシテ說ヲ述ベタウゴザイマス、此場合ニハ登壇イタシマセヌ
- 議長（公爵徳川家達君） 松平男爵ニ伺ヒマスガ、討論終結ガ御希望デゴザイマスカ
- 男爵松平正直君 希望デスカラ……
- 議長（公爵徳川家達君） 松平男爵ノ發言ヲ求メラレマシタノハ、田男爵ヲ呼ビマシタアトデアリマスカラ、議長ハ一言申述べタノデアリマス、田男爵ガ通告ヲ御取消ニナッタト認メマスカラ、サウスレバ松平男爵ノ方ニ發言ヲ許シテ宜カラウト考ヘマス
- 子爵三島彌太郎君 賛成
- 〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕
- 議長（公爵徳川家達君） 松平男爵ノ討論終局ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 起立者 多數
- 議長（公爵徳川家達君） 過半數ト認メマス、故ニ討論ハ終局ニ相成リマシタ  
〔男爵千家尊福君發言ノ許可ヲ求ム〕
- 議長（公爵徳川家達君） 千家男爵ハ何デスカ
- 男爵千家尊福君 チヨット是カラニ讀會ニ移ルヤ否ヤノ決ヲ御採リニナル

- 場合ニ屬シタルノデアラウト存ジマス、ソレニ付キマシテ先刻御演説ニナリマシタ平山君ニ對シテ、チヨット確カメテ置キタイコトガアル、御許シヲ蒙ムルコトガ出來マセヌデセウカ
- 議長（公爵徳川家達君） 御質問ナラバ宜シウゴザイマス
- 男爵千家尊福君 質問デス、ソレデハ平山君ニ御尋ネヲ致シテ置キマスガ、平山君ノ先刻ノ賛成ノ御演説中ニ、自分モ此案ニ對シテハ不滿足ナ廉ガアルケレドモ、枉ゲテ賛成ヲスルト云フ言葉ヲ拜聽シタヤウニ心得マスルガ、果シテ其通リデアリマスカ、其コトヲモウ一應承リタイ、又昨日ノ委員會ノ席上ニ於キマシテ原案ニ賛成ノ御演説ガアリマシタ、富井博士ノ御演説中ニモ、此案ニ對シテハマダ不完全トカ不十分トカ、其言葉ハ記憶イタシテ居リマセヌガ、完全デハナイヤウニ思フケレドモ賛成ヲ表スルト云フヤウナ御言葉ガアツタヤウニ覺エテ居リマス、此事モ一應富井博士カラ御答ヲ願ツテ置キタイト考ヘマス
- 平山成信君 唯今ノ千家男爵ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、成ルホド私ハ一遍不滿足ナ點ガアルト云フコトハ申シマシタ、其コトハ即チ男爵議員ニ七八人ヲ増スト云フコトデアリマシテ、寧ロ私ハ此前ノ三十八年案ノ如ク、總テ三爵トモ現在ノ數ヲ押ヘタガ宜シイト思フノデアリマス、併ナガラ先程モ演壇デ申シマシタ通り、其數ハ僅ナコトデアリマスカラ、一步ヲ譲ツテ原案ニ賛成ヲ致シタト申シタノデアリマス、其様ニ御承知ヲ願ヒタイ
- 富井政章君 私ニ對シテ御質問ガアリマシタカラ、一言御答ヲ致シテ置キマス、私ハ如何ニモ昨日ノ委員會ニ於テ原案ヲ完全ナルモノト認メナイト云フコトヲ申シマシタガ、誠ニ其通リデアリマス、完全ナル案ハ頭數ト階級トヲ參酌シテ、其上ニ輪廓ヲ置イテ適當ナ配置ヲナスガ最モ完全ナ案デアラウト信ズルノデアリマス、今日新ニ貴族院令ヲ拵ヘルト云フ場合デアラウカサウ云フ風ニシタイト思フノデアリマスガ、併ナガラ今日ハサウ云フ場合デナク、現在ノ情況ヲ斟酌セネバナラヌコトモアルト思ヒマス、ソレ故ニデ原案ニ賛成シタノデアリマス
- 議長（公爵徳川家達君） 是ヨリ採決ヲ致シマス、採決ノコトニ付キマシテ三島子爵其他定規ノ賛成者ヲ以テ、採決ハ記名投票ヲ以テセラレムコトヲ請求スト云フ要求書ガ出テ居リマス、故ニ記名投票ヲ以テ採決ヲ致シマス、念

ノ爲メ申上ダマスガ、此改正案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ハ白色票ヲ、開クベカラズトセラル、諸君ハ青色票ヲ御投入ヲ請ヒマス、ソレデ本日ハ……

## 〔男爵田健治郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

マダ議長ノ發言中デアリマス、先日來記名投票ノトキニハ諸君ノ御席へ書記官ヲ出シマシタガ、本日ハ以前ノ如ク此演壇ニ御出デヲ願ヒマス、其爲ニ氏名點呼ヲ致シマス、尙ホ申上ダマスガ、江木君ハ如何ニモ御歩行ガ御難儀ノヤウニ議長ハ考ヘマスカラ、諸君ニ於テ御異存ガアラセラレマセヌケレバ、江木君ダケハ鄰席ノ御方ニ其投票ヲ託サレテ御頼ミニナツテ宜カラウカト考ヘマス、之ヲ諸君ニ伺ヒマス

## 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

## 〔男爵田健治郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 田男爵ハ何デスカ

○男爵田健治郎君 其投票ニ付イテ伺ツテ置キマスガ、サウスルト政府ノ原案ニ贊成スル者ハ此白色票ヲ持ツテ行クト云フ譯デアリマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 總テ貴族院ノ規則ノ通りデアリマス、貴族院ノ規則ハ諸君ガ御熟知デアラウト存ジマスカラ、議長ハサウ度々御耳ヲ煩ハシタクハゴザイマセヌ

〔男爵伊達宗敦君「私モ足痛ノ爲ニ登壇困難デゴザイマスカラ鄰席ニ賴ミタウゴザイマスガ御許シハアリマセヌカ」ト述フ〕

## 〔異議アリト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ氏名點呼ヲ行ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 〔書記官氏名點呼ヲ行フ〕

## 〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、投票總數二百七十二、白色票ヲ投ジタル者即チ第二讀會ヲ開クベシトスル者百九十、青色票ヲ投ジタル者即チ第二讀會ヲ開クベカラズトスル者八十二、故ニ本案ハ第二讀會ヲ開クベシト云フコトニナリマシタ

## 〔參照〕

賛成者氏名	候爵鍋島直大君	候爵黒田長成君	候爵大炊御門幾麿君
侯爵花山院親家君	伯爵萬里小路通房君	伯爵正親町實正君	伯爵大原重朝君
伯爵寺島誠一郎君	伯爵大木遠吉君	伯爵島津忠亮君	伯爵清棲家教君
伯爵松平賴壽君	伯爵柳澤義光君	伯爵柳澤保惠君	伯爵廣澤金次郎君
男爵楫取素彦君	伯爵渡邊昇君	伯爵北垣國道君	伯爵川村鐵太郎君
子爵伏原宣足君	子爵井上勝君	子爵平松時厚君	子爵井上勝君
子爵加納久宜君	子爵堤功長君	子爵裏松良光君	子爵岡部長職君
子爵藤井行徳君	子爵唐橋在正君	子爵野宮定穀君	子爵野宮定穀君
子爵戸田忠行君	子爵一柳末徳君	子爵大宮以季君	子爵大久保忠順君
子爵堀田正養君	子爵井伊直安君	子爵内田正學君	子爵内田正學君
子爵大田原一清君	子爵井口弘達君	子爵鳥居忠文君	子爵鳥居忠文君
子爵牧野貞寧君	子爵山口弘達君	子爵松平康民君	子爵松平康民君
子爵京極高徳君	子爵井伊直虎君	子爵板倉勝達君	子爵板倉勝達君
子爵新莊直陳君	子爵鍋島直柔君	子爵烏居和志君	子爵烏居和志君
子爵實吉安純君	子爵久留島通簡君	子爵本多忠敬君	子爵本多忠敬君
子爵土御門晴榮君	子爵本莊壽巨君	子爵持明院基哲君	子爵持明院基哲君
子爵毛利元忠君	子爵鍋島直虎君	子爵松平定行君	子爵松平定行君
子爵稻垣太祥君	子爵關博直君	子爵入江爲守君	子爵入江爲守君
子爵松平忠禎君	子爵舟橋遂賢君	子爵本莊宗義君	子爵本莊宗義君
子爵青木信光君	子爵樋口誠康君	子爵松平忠篤君	子爵松平忠篤君
子爵酒井忠亮君	子爵有馬賴之君	子爵牧野忠篤君	子爵牧野忠篤君
子爵松平容大君	子爵三島彌太郎君	子爵入江爲守君	子爵入江爲守君
子爵伊集院兼知君	子爵松平直平君	子爵前田利定君	子爵前田利定君
子爵松平忠禎君	子爵堀河護磨君	子爵松平直敬君	子爵松平直敬君
子爵辻新次君	子爵細川立興君	子爵本莊宗義君	子爵本莊宗義君
男爵鍋島幹君	子爵水井清君	子爵水野直君	子爵水野直君
男爵周布淺田德則君	子爵野村立興君	子爵松平正直君	子爵松平正直君
男爵調所廣丈君	子爵森清君	子爵船越衛君	子爵船越衛君
男爵周布長谷辰連君	子爵野村立興君	子爵松平正直君	子爵松平正直君

貴族院議事速記録第十八號	明治四十二年三月二十日	貴族院令中改正案	會議
小牧昌業君	田中芳男君	平山成信君	宮崎喜久太郎君
男爵松尾臣善君	男爵高木兼寛君	小松原英太郎君	下郷傳平君
男爵菊池忠惠君	男爵木梨精一郎君	河田與惣左衛門君	下村辰右衛門君
男爵石黒帶刀君	男爵久保田讓君	田邊輝實君	日高榮三郎君
黑岡健次郎君	山縣伊三郎君	男爵野田裕通君	森廣三郎君
男爵沖守固君	江木千之君	男爵木梨精一郎君	伊藤長次郎君
木下廣次君	高崎親章君	男爵久保田讓君	服部一三君
男爵武井守正君	重野安繹君	男爵目賀田種太郎君	男爵大浦兼武君
男爵高橋是清君	森山茂君	石井省一郎君	男爵寺島秋介君
阿部浩君	山田爲喧君	湯地定基君	男爵寺島秋介君
柴田家門君	岡田貞平君	馬屋原彰君	男爵寺島秋介君
湯地定監君	一本喜徳郎君	奥山政敬君	男爵寺島秋介君
得能通昌君	石黒五十二君	岡田貞平君	男爵寺島秋介君
仁尾惟茂君	平井晴二郎君	馬屋原彰君	男爵寺島秋介君
堀基君	石渡敏一君	古市公威君	男爵寺島秋介君
湯地定監君	千頭清臣君	富井政章君	男爵寺島秋介君
古莊嘉門君	穗積八束君	野崎啓造君	男爵寺島秋介君
高橋新吉君	高木豊三君	關清英君	男爵寺島秋介君
田島竹之助君	安廣伴一郎君	山田春三君	男爵寺島秋介君
馬屋原二郎君	下條正雄君	河島醇君	男爵寺島秋介君
古莊嘉門君	木場貞長君	伊澤修二君	男爵寺島秋介君
高橋新吉君	石渡敏一君	加藤正惠君	男爵寺島秋介君
桜木嘉右衛門君	高木豊三君	兒玉淳一郎君	男爵寺島秋介君
宮本谷藏君	穗積八束君	細谷巖太郎君	男爵寺島秋介君
岡谷惣助君	安廣伴一郎君	谷井勘藏君	男爵寺島秋介君
松村脩平君	下條正雄君	細谷巖太郎君	男爵寺島秋介君
五十嵐敬止君	木場貞長君	谷井勘藏君	男爵寺島秋介君
杉下太郎右衛門君	高木豊三君	大谷嘉兵衛君	男爵寺島秋介君
並木和一君	穗積八束君	橋本雄造君	男爵寺島秋介君
土居通博君	高木豊三君	村岡淺右衛門君	男爵寺島秋介君
道源權治君	大庭長九郎君	大谷嘉兵衛君	男爵寺島秋介君
久保市三郎君	糸原武太郎君	松村時次君	男爵寺島秋介君
市川文藏君	大庭長九郎君	辰巳楨太郎君	男爵寺島秋介君
河田與惣左衛門君	糸原武太郎君	木村誓太郎君	男爵寺島秋介君
下郷傳平君	糸原武太郎君	本間千代吉君	男爵寺島秋介君
小松原英太郎君	糸原武太郎君	市川文藏君	男爵寺島秋介君

反對者氏名	公爵二條基弘君	侯爵細川護成君	侯爵德川賴倫君
伯爵大村純雄君	伯爵大村純雄君	伯爵德川達孝君	伯爵吉井幸藏君
伯爵松木宗隆君	伯爵松木宗隆君	松岡康毅君	子爵鍋島直彬君
子爵曾我祐準君	子爵曾我祐準君	子爵松平乘承君	宮本小一君
男爵岡内重俊君	男爵岡内重俊君	男爵北畠治房君	男爵赤松則良君
男爵千家尊福君	男爵千家尊福君	男爵前島密君	男爵小澤武雄君
男爵園田安賢君	男爵園田安賢君	男爵茨木惟昭君	男爵伊達宗敦君
男爵四條隆平君	男爵四條隆平君	男爵佐野延勝君	男爵西五辻文仲君
男爵中川興長君	男爵中川興長君	男爵藤枝雅之君	男爵小野尊光君
男爵金子有卿君	男爵金子有卿君	男爵本多副元君	男爵北島齊孝君
男爵島津珍彥君	男爵島津珍彥君	男爵高千穂宣麿君	男爵杉溪言長君
男爵南光利君	男爵南光利君	男爵新田忠純君	男爵南岩倉具威君
男爵平野長祥君	男爵平野長祥君	男爵高崎安彥君	男爵辻健介君
男爵紀俊秀君	男爵紀俊秀君	男爵山内豊政君	男爵小早川四郎君
男爵青山元君	男爵青山元君	男爵河邊博長君	男爵藤大路親春君
男爵伊丹春雄君	男爵伊丹春雄君	男爵眞田幸世君	男爵尚順君
男爵若王子文健君	男爵若王子文健君	男爵眞田厚君	男爵千秋季隆君
男爵北大路實信君	男爵北大路實信君	男爵眞田幸世君	男爵尚順君
男爵伊丹春雄君	男爵伊丹春雄君	男爵中島久万吉君	男爵島津忠欽君
男爵長松篤葉君	男爵長松篤葉君	男爵諫早家崇君	男爵小原適君
男爵淺野守夫君	男爵淺野守夫君	男爵本多政以君	男爵二條正鷹君
西村亮吉君	西村亮吉君	谷森真男君	男爵島津忠欽君
千坂高雅君	千坂高雅君	中島永元君	男爵小原適君
平山靖彦君	平山靖彦君	菊池武夫君	男爵二條正鷹君
磯邊包義君	磯邊包義君	富田鐵之助君	男爵二條正鷹君
桑田榮吉君	桑田榮吉君	安樂兼道君	男爵二條正鷹君
熊藏君	熊藏君	吉野周太郎君	男爵二條正鷹君

保阪潤治君

○侯爵黒田長成君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○伯爵松平頼壽君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ黒田侯爵ノ動議ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者

多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、是ニハ廣澤伯爵ヨリ定規ノ賛成者ヲ得テ修正案ガ議長ノ手許ニ參<sup>ツ</sup>テ居リマス、其修正案ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔東久世書記官朗讀〕

貴族院令中左ノ通改正ス

第四條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項議員ノ數ハ伯爵十九人以内、子爵七十人以内、男爵六十三人以内トシ各爵其ノ總數ノ五分ノ一ヲ超過スヘカラス

〔伯爵廣澤金次郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵廣澤金次郎君 諸君、唯今書記官ヨリ朗讀ニナリマシタル通リノ修正案ヲ本員ハ此際提出イタシタノデアリマス、此修正案ノ理由及説明ヲ致ス前ニ本員ハ第一讀會ノ場合ニ意見ヲ述ベル機會ガアリマセヌカッタニ依<sup>ツ</sup>テ成ルベク簡單ニ本案ニ付イテ多少大體ノ意見ヲ述ベル考デアリマス、其意見ヲ述ベル前ニ本員一つ茲ニ諸君ニ能ク御聽キヲ願ヒタイコトガアリマス、ソレハ本員ノ如キハ實ニ斯ノ如キ問題ガ出テ或ハ各爵間、或ハ貴族院ノ各團體ノ間ニ種々ノ衝突ヲ來タシタト云フコトハ遺憾千萬デアルト考ヘルノデアリマス、是ハ本員ガ政府ニ望ムノデアリマスガ、最早遲シデアリマスガ、本案ヲ提出サレタ時代ニ貴族院ノ各團體ニ或ル者ハ折々交渉委員ナド<sup>ヲ</sup>呼バレテ御協議ガアッタ如ク、御協議ニナッタナラバ實ハ圓滿ナル修正案若クハ成案ガアッタラウト考ヘマス、實ニ是ハ政府及各團體ノ諸君ニモ私ハ遺憾ニ思フノト考ヘマスガ、政府ノ原案ニ據リマスト、伯爵ノ總數ニ對シマスル議員ノ選出

ド既ニ江木君カラ最早一讀會ノ場合ニ御話ガアリマシタカラ、殆ド修正ノ要領ハ諸君ニ於テモ御分リノコト、考ヘマス、併ナガラ一應ハ申上ダマスガ、修正案ハ伯爵ノ數ヲ十九名ト致シマシテ、子爵ヲ七十名、男爵ヲ七十名、合セテ百五十九名デアリマス、即チ政府ノ原案ニ増加スルコト九名デアリマス、諸君、本員ノ如キハ本案ニ反対ノ一部諸君ノ如キトハ違ヒマシテ、按分比例必ズ公平ナリト云フ議論デナイ一人デアリマス、寧ロ本員ノ如キハ先キホド富井博士ガ述ベラレタガ如ク此貴族院ノ有爵議員ヲ決メルニハ最モ公平ナルモノデアラウト考ヘルノデアリマス、故ニ……モウ一ツ申上ダルコトヲ打レマシタカラ申上ダマスガ、政府ハ委員會ニ於テ現狀現狀ト云フコトヲ度<sup>ム</sup>言ハレタノデアリマス、諸君、此議員ノ數ノ現狀ト云フモノハ如何ナル所カラ割出サレテアルデアリマセウカ、現行法ヨリ割出シタノガ即チ現狀デアラウト考ヘルノデアル、即チ現行法ニ據リマスル現狀ニ依リマスレバ伯爵ハ十一名「コソンマ」幾ラデアリマスガ、假ニ十六名ト看做ス、子爵ハ六十三名ニナルト考ヘマス、男爵ハ六十三名カ四名ニナル、サウ致シマスト、政府ノ原案ハ子爵ヲ七名増シ、伯爵<sup>ヲ</sup>一名増シ、子爵ハ即チ現狀ノ儘ト云フノガ政府ノ現行法ニ據リマスル政府ノ成案デアリマス、斯ノ如キハ實ニ公平ナ案トハ誰ガ見テモ見エヌダラウト考ヘマス、苟モ此按分比例說ヲ破リマシテ茲ニ一定ノ數ヲ決メル以上ハ、成ルベク……政府ノ言葉ヲ藉リテ申セバ穩當ナ案ヲ立てラレタナラバ誰モ異議ガ無カッタコト、考ヘルノデアリマス、故ニ本員ノ如キハ唯今申上ダタ如キ修正說ヲ出シマシテ成ルベク政府ノ原案ノ趣旨ニ違ハズシテ穩當ナ案ヲ出ダシ、將來ニ各爵間ノ感情ヲ害スルトカ、或ハ衝突ヲ來タストカ云フコト無ク、貴族院モ是マデ通リ圓滿ニ貴族院ノ體面ヲ保チタイト云フノガ我<sup>ム</sup>ノ考デアリマス、諸君、政府ハ男爵ノ數ヲ七名増ス、其七ト云フ數ハ何レカラ出シタカト言ヘバ、即チ現行法ノ按分比例ヲ守ラレテ出タ七名デアルト云フコトデアリマス、故ニ政府ノ說ハ少シ本員ニ分ラナイノハ、或ル點ニ於テハ即チ現行法ノ現狀ト云フ意味モアルシ、又或ル點ニ於テハ今日ノ各爵議員ノ數ヲ現狀ト見ラレルノデアルガ、或ルトキハ便利ノ現行法ノ現狀ト云ヒ、或ルトキハ便利ノ現在ノ議員數ガ現狀デアルト云フ解釋ガ出来ルノデアリマス、次ニ今日ノ政府案ハ議員數ニ依<sup>ツ</sup>テ如何ナル便利ヲ來タス、是ハ本員ガ政府ニ望ムノデアリマスガ、本員ヲ考ヘマスガ、政府ノ原案ニ據リマスト、伯爵ノ總數ニ對シマスル議員ノ選出

ノ比例ハ五・九四トナル、子爵ハ五・三九トナリマス、而シテ男爵ハ六ニナリマス、諸君、先キホド富井博士ト考ヘマス、又江木君モ同様ノ議論ヲ致サレタト考ヘルノデアリマスガ、即チ江木君ノデモ富井君ノデモ或ル點ニ於テハ私ト同論デアラウト考ヘマス、苟モ此公平ト云フモノハ或ル者ニハ議員ノ頭數及階級及現行法ノ現狀、此三ツヲ參照シナケレバ公平ト云フコトノ割出シガ出来ヌダラウト考ヘルノデアリマス、而シテ此政府案ノ結果ト云フモノハ伯爵ノ點ニ於キマシテ五・九、子爵ハ五・三、又下リマシテ六、斯ウ云フ比例ト云フモノハ如何ニモ殘念ナガラ公平ト云フコトハ出來ヌダラウト考ヘルノデアリマス、故ニ此際政府ノ員數ヲ決メルト云フコトニ付イテハ本員等モ一ノ異議ハ無イノデアリマス、先キホド江木君ハ言ハレタガスノ如キ修正ガ出ルト年々歲々此貴族院令ノ修正ガ有爵者ノ數ガ増ス度ニ貴族院令ノ改正ヲスル必要ガ出ハセヌカト云フ御心配ガアリマシタガ、本員等ハ矢張リ此際成ルベク公平ナル比例ニ依ッテ議員ノ數ヲ決メマシテ、而シテ成ルベク長ク此貴族院令ト云フモノ、改正等ノ考ヘノ無イコトヲ希望スルノデアリマス、而シテ先キホド申上ゲマシタ如ク、一番此案ヲ考ヘマスノニハ、先ヅ現行法ノ數ハ如何ト云フコトカラ割出シテ諸君御覽ニナラムコトヲ希望スルノデアリマス、例ヘバ假ニ此議會ガ濟ミマシテ七月ニ或ル事情ニ依ッテ總選舉ガアッタト假定シタナラバ、如何ナルモノデ員數ガ割當テラレルカト云フコトヲ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、即チ伯爵ハ十六名、子爵ハ六十三名、若クハ四名、男爵ハ六十四名トナル、ソレガ今度政府ノ改正案ニナリマスレバ、伯爵ハ一人ノ増加ヲ來タシ、子爵ハ七名ノ増加ヲ來タシ、男爵ハ現在ノ儘ト云フコトニナルノデアリマス、諸君之ヲ以テ如何ニ考ヘテモ公平ナル員數ノ決メ方ト本員等ハ解シ得ナイノデアリマス、故ニ繰返ヘシマスルガ、ドウゾ諸君ニ於キマシテモ政府案ノ改正ノ趣旨ニハ無論本員モ贊成デアリマスガ、此貴族院令ノ如キハ年々歲々改正ヲ加ヘキモノデハナイ、故ニ此際成ルベク公平ナル數ヲ以テ此定數ヲ決メテ尙ホ將來ニ於キマシテモ各爵間ニ感情ノ衝突ト云フコトガ無イヤウニ本員ハ希望スルノデアリマス、ドウゾ諸君ニ於テハ冷靜ナル頭ヲ以テ本員ノ修正案ニ成ルベク御贊成アラムコトヲ希望イタシマス

〔男爵田健治郎君演壇ニ登ル〕

○男爵田健治郎君 私ハ原案賛成論者ト致シマシテ唯今廣澤伯爵ヨリ御提出ニナリマシタル修正案ニ向ツテ反對ノ趣意ヲ申述べマシテ諸君ノ御贊成ヲ請

ハウト存ジマス、最早大分討論モ長ク相成リマシタカラ、極メテ簡單ニ要領ノミヲ申上ゲマシテモ御分リニナルダラウト思ヒマス、反對論者殊ニ此修正案提出ノ方ミハ算盤、即チ按分比例ト云フコトヲ以テ金科玉條トナサレテ居ルヤウデアリマス「ノー／＼」ト呼フ者アリ、然ルニ廣澤伯爵ハ唯今必シモ按分比例ト云フモノハ正當ノモノデナイト云フコトヲ仰シヤッタ、即チ私ドモモノニアラザルモノト云ヒナガラ、唯今御提出ニナリマシタ所ノ伯爵十九人、子爵七十人、男爵七十人ト云フコトガ、全ク此子爵七十人ト云フ現員ヲ押ヘテ而シテ其割合ヲ以テ按分比例デ以テ各爵ノ定員ヲ定メヤウト云フコトヲ御提出ニナツタノデアリマスルカラ、御精神ハ按分比例ハイケナイト自白サレナガラ、其現レテ居ル法案ハ即チ按分比例ノモノニナツテ居ルノデアリマス、私ハ此按分比例ト云フコトニ付イテ既ニ御提出者ガ正當ニアラズト云フコトヲ仰シヤツテゴザルノニ、尙ホ其上ニ駿擊ヲ加ヘルハ少シク餘リ追擊ニ過ギルヤウニ見エマスケレドモ、一應、論ノ順序トシテ按分比例ハ即チ算盤思ヒマス、元來此算盤ト申スモノハ極メテ冷カナモノデ、殆ド氷ヨリモ冷メタイヤウナモノデアル、金錢ナドヲ計算スルニハ誠ニ結構ナモノデ是ハ間違ヒナイモノデ、算盤ナラザルヲ得ヌノデアリマスケレドモ、此貴族院ノ組織ヲ議スルト云フヤウナ場合ニ於テ算盤ノ一本槍デ論ズルト云フコトハ實ニ情ケナイコトデアルト思フノデアリマス、此算盤ト云フモノハ極メテ冷淡ナ……冷酷ナモノデゴザイマスルガ故ニ、ソレヲ以テ唯、此順序ヲ決メヤウト云フコトハ、極メテドウモ不適當ナモノデアル、ソレデアリマスカラ私ハドウシテモ是ハ貴族院ノ組織ト云フモノハ沿革モ顧ミナクテハナラヌノデアル、即チ子爵議員ハ第一期帝國議會ガ開ケテ以來、七十人ノ定員ヲ以テ今日マデ、ズット過ギ来ツタノデアリマス、ソレデ以テ其子爵議員ガ其選舉者ノ減ジタガ無イヤウニ本員ハ希望スルノデアリマス、ドウゾ諸君ニ於テハ冷靜ナル頭ヒマス、然ルニ今日ハ子爵ノ數ガ三百七十七名デアリマスカニ殖エテ居ル、確ニ二十名以上殖エテ居リマス、此通リデアツテ國會開設以來七十人ノ議員ヲ選舉シ來ツテ、而シテ其選舉者ハ尙ホ加ハツテ居ルノデアリマス、ソレデ

法定範圍ノ數、即チ五名ニ付イテ一人ヲ超エザルト云フ、數カラ割出シタナラバマダ此上五名クラキノ増加ヲシ得ル所ノモノデアルノデアリマス、然ルニ其子爵ト云フ階級ハ其通リデアルニ拘ラズ、他ノ理由、全ク子爵ノ意想外ナル理由、即チ男爵ノ大ナル劇增ニ依ツテ今日此論ハ起ツタノデアリマス、ソレデアリマスカラ男爵ノ劇増ノ爲ニ男爵議員ハ非常ニ増シテ居ルノデアリマスル、トコロガ今日政府ノ案ハソレニ對シテ又増スト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレデアルノニ、マダソレデモ七名増サレテハマダ足ラナイ、マダ其上ニ七名増シテ都合十四名ニセヌケレバナラスト云フヤウナコトヲ申スト云フコトハ如何ニモ情ケナイ次第デアル、私モ男爵ノ一人デ、末班ヲ汚シテ居ル一人デゴザイマスカラ、私情カラ申シマスレバ必ズ賛成シタイノデアル、然ルニ丁度午前ニ曾我子爵ガ言ハレタ如ク此公議輿論ノ府、正義正道ヲ守ル所ノ貴族院ニ於テ左様ナル已レノ階級ニ屬スル所ノ利益ヲ圖ルト云フヤウナ私ノ論ヲナサレル方ハ一人モナイ筈デアル、然ルニ遺憾ナルカナ此修正案ノ増加案ハ、ドウモサウ云フ傾キガアルカラ私ハ如何ニモ殘念ニ思フノデアリマス、ソレカラ此子爵ヲ其儘ニ置イテ宜イト申スコトハ即チ沿革ト申シ、實在ト言ヒ、此實在ト云フコトハナカ／＼大キナ力ヲ有ツテ居ル、現在アル所ノ七十人ノ現員ヲ看ス／＼減ラシテ持ツテ行クト云フヤウナコトハ實ニ出來ナイ、ソレデ以テ已ムヲ得ズソレヲ置カウト云フノデ、其置カウト云フ結果トシテ終ニ今申スヤウナル劇増ヲ來タシタ、此劇増ト云フコトニ付イテハ諸君餘ホド御考ヘニナリタイ、既ニ同論者モ申述べラレマシタガ、唯有爵議員バカリノコトニ見テ此所デ論ヲスルト云フコトハ甚ダ不都合ナ次第ト思ヒマス、ドウデモ此上院ニ於キマシテハ他ノ勅選議員即チ現ニ殆ド同數デアッタ勅選議員デアリマス、ソレガ明治二十八年ノ改正ニ依ツテ幾ラカノ差ヲ生ジテ居ル、今又此定數ヲ變ヘマシテ有爵議員ニハ十六人ノ劇増ヲ來タスト云フコトニナルト勅選議員トハ非常ナ懸隔ヲ茲ニ生ズルト云フコトガアリマス、多額納稅議員ニ向ツテモ亦其工合モアリマス、又モウ一步進ンデ申シマスレバ、衆議院トノ關係ニモ矢張リ不權衡ヲ生ズルデアラウト恐レル、何レノ國デモ貴族院ヨリハ寧ロ衆議院ノ方ガ人數ガ多イト云フコトハ殆ド争フベカラザルノデアリマス、我ガ帝國議會ニ於テモ初メカラ今日ニ至ルマデ、衆議院議員ノ方ガイツモ定員ガ多イノデアリマス、然ルニ今此修正案ノ通リニ若シモ決スルコトニナリマスルト云フト、即チ現在ノ定員ガ三百七十一人デア

リマスカラ、之ニ十六人ヲ加ヘテ見マスルト云フト、三百八十七人ト云フモノニナル、衆議院ハ三百八十一人デアル、シテ見ルト云フト、衆議院ヨリモ亦六人モ増スト云フコトニナルノデアル、諸君ハ衆議院ノ選舉法改正案ニ付イテハ我ミモ同一ノ意見ヲ以テ昨年モ既ニ此十年ノ中ニ増加スル如キコトヲマダ其上ニ七名増シテ都合十四名ニセヌケレバナラスト云フヤウナコトヲ申スト云フコトハ如何ニモ情ケナイ次第デアル、私モ男爵ノ一人デ、末班ヲ汚シテ居ル一人デゴザイマスカラ、私情カラ申シマスレバ必ズ賛成シタイノデアル、然ルニ丁度午前ニ曾我子爵ガ言ハレタ如ク此公議輿論ノ府、正義正道ヲ守ル所ノ貴族院ニ於テ左様ナル已レノ階級ニ屬スル所ノ利益ヲ圖ルト云フヤウナ私ノ論ヲナサレル方ハ一人モナイ筈デアル、然ルニ遺憾ナルカナ此修正案ノ増加案ハ、ドウモサウ云フ傾キガアルカラ私ハ如何ニモ殘念ニ思フノデアリマス、ソレカラ此子爵ヲ其儘ニ置イテ宜イト申スコトハ即チ沿革ト申シ、實在ト言ヒ、此實在ト云フコトハナカ／＼大キナ力ヲ有ツテ居ル、現在アル所ノ七十人ノ現員ヲ看ス／＼減ラシテ持ツテ行クト云フヤウナコトハ實ニ出來ナイ、ソレデ以テ已ムヲ得ズソレヲ置カウト云フノデ、其置カウト云フ結果トシテ終ニ今申スヤウナル劇増ヲ來タシタ、此劇増ト云フコトニ付イテハ諸君餘ホド御考ヘニナリタイ、既ニ同論者モ申述べラレマシタガ、唯有爵議員バカリノコトニ見テ此所デ論ヲスルト云フコトハ甚ダ不都合ナ次第ト思ヒマス、ドウデモ此上院ニ於キマシテハ他ノ勅選議員即チ現ニ殆ド同數デアッタ勅選議員デアリマス、ソレガ明治二十八年ノ改正ニ依ツテ幾ラカノ差ヲ生ジテ居ル、今又此定數ヲ變ヘマシテ有爵議員ニハ十六人ノ劇増ヲ來タスト云フコトニナルト勅選議員トハ非常ナ懸隔ヲ茲ニ生ズルト云フコトガアリマス、多額納稅議員ニ向ツテモ亦其工合モアリマス、又モウ一步進ンデ申シマスレバ、衆議院トノ關係ニモ矢張リ不權衡ヲ生ズルデアラウト恐レル、何レノ國デモ貴族院ヨリハ寧ロ衆議院ノ方ガ人數ガ多イト云フコトハ殆ド争フベカラザルノデアリマス、我ガ帝國議會ニ於テモ初メカラ今日ニ至ルマデ、衆議院議員ノ方ガイツモ定員ガ多イノデアリマス、然ルニ今此修正案ノ通リニ若シモ決スルコトニナリマスルト云フト、即チ現在ノ定員ガ三百七十一人デア

リマスカラ、之ニ十六人ヲ加ヘテ見マスルト云フト、三百八十七人ト云フモノニナル、衆議院ハ三百八十一人デアル、シテ見ルト云フト、衆議院ヨリモ亦六人モ増スト云フコトニナルノデアル、諸君ハ衆議院ノ選舉法改正案ニ付イテハ我ミモ同一ノ意見ヲ以テ昨年モ既ニ此十年ノ中ニ増加スル如キコトヲマダ其上ニ七名増シテ都合十四名ニセヌケレバナラスト云フヤウナコトヲ申スト云フコトハ如何ニモ情ケナイ次第デアル、私モ男爵ノ一人デ、末班ヲ汚シテ居ル一人デゴザイマスカラ、私情カラ申シマスレバ必ズ賛成シタイノデアル、然ルニ丁度午前ニ曾我子爵ガ言ハレタ如ク此公議輿論ノ府、正義正道ヲ守ル所ノ貴族院ニ於テ左様ナル已レノ階級ニ屬スル所ノ利益ヲ圖ルト云フヤウナ私ノ論ヲナサレル方ハ一人モナイ筈デアル、然ルニ遺憾ナルカナ此修正案ノ増加案ハ、ドウモサウ云フ傾キガアルカラ私ハ如何ニモ殘念ニ思フノデアリマス、ソレカラ此子爵ヲ其儘ニ置イテ宜イト申スコトハ即チ沿革ト申シ、實在ト言ヒ、此實在ト云フコトハナカ／＼大キナ力ヲ有ツテ居ル、現在アル所ノ七十人ノ現員ヲ看ス／＼減ラシテ持ツテ行クト云フヤウナコトハ實ニ出來ナイ、ソレデ以テ已ムヲ得ズソレヲ置カウト云フノデ、其置カウト云フ結果トシテ終ニ今申スヤウナル劇増ヲ來タシタ、此劇増ト云フコトニ付イテハ諸君餘ホド御考ヘニナリタイ、既ニ同論者モ申述べラレマシタガ、唯有爵議員バカリノコトニ見テ此所デ論ヲスルト云フコトハ甚ダ不都合ナ次第ト思ヒマス、ドウデモ此上院ニ於キマシテハ他ノ勅選議員即チ現ニ殆ド同數デアッタ勅選議員デアリマス、ソレガ明治二十八年ノ改正ニ依ツテ幾ラカノ差ヲ生ジテ居ル、今又此定數ヲ變ヘマシテ有爵議員ニハ十六人ノ劇増ヲ來タスト云フコトニナルト勅選議員トハ非常ナ懸隔ヲ茲ニ生ズルト云フコトガアリマス、多額納稅議員ニ向ツテモ亦其工合モアリマス、又モウ一步進ンデ申シマスレバ、衆議院トノ關係ニモ矢張リ不權衡ヲ生ズルデアラウト恐レル、何レノ國デモ貴族院ヨリハ寧ロ衆議院ノ方ガ人數ガ多イト云フコトハ殆ド争フベカラザルノデアリマス、我ガ帝國議會ニ於テモ初メカラ今日ニ至ルマデ、衆議院議員ノ方ガイツモ定員ガ多イノデアリマス、然ルニ今此修正案ノ通リニ若シモ決スルコトニナリマスルト云フト、即チ現在ノ定員ガ三百七十一人デア

リマスカラ、之ニ十六人ヲ加ヘテ見マス、總理大臣カラ伺ヒマスレバ誠ニ光榮ノ至リデハアリマスガ、萬一總理大臣カラ御答ガ出來ネバ議席ニ居ラッシャル政府委員ガ其所ヘ御出席ニナッテ御答辯ヲ願ヒタク、ソレハ度々伺フコトデアリマスルケレドモ、數字ニ關係イタシマスノデアリマスカラ尙ホ一應出テ居ラレマシテ御答ヲ致スト今言ハレテ居リマス、御質問ニナッタラドウデセウ

○男爵紀俊秀君 ソレデハ伺ツテ見マス、總理大臣カラ伺ヒマスレバ誠ニ光榮ノ至リデハアリマスガ、萬一總理大臣カラ御答ガ出來ネバ議席ニ居ラッシャル政府委員ガ其所ヘ御出席ニナッテ御答辯ヲ願ヒタク、ソレハ度々伺フコトデアリマスルケレドモ、數字ニ關係イタシマスノデアリマスカラ尙ホ一應出テ居ラレマシテ御答ヲ致スト今言ハレテ居リマス、御質問ニナッタラドウデセウ

○男爵紀俊秀君 ソレデハ伺ツテ見マス、總理大臣カラ伺ヒマスレバ誠ニ光榮ノ至リデハアリマスガ、萬一總理大臣カラ御答ガ出來ネバ議席ニ居ラッシャル政府委員ガ其所ヘ御出席ニナッテ御答辯ヲ願ヒタク、ソレハ度々伺フコトデアリマスルケレドモ、數字ニ關係イタシマスノデアリマスカラ尙ホ一應出テ居ラレマシテ御答ヲ致スト今言ハレテ居リマス、御質問ニナッタラドウデセウ

カモ其中デ未襲爵ト云フモノガ何人デアリマスカ、ドウカ其點ヲ伺ヒタイ、  
デ總理大臣カラ御答ヲ戴クト云フコトデアリマスレバ、ドウゾ總理大臣カラ

御答ヲ願ヒタウゴザイマス  
○議長(公爵徳川家達君) 政府委員ガ唯出席セラレマシタカラ、政府委員  
カラ答辯ガアル趣キデアリマス

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 唯今、紀男爵カラノ御質問デアリマシタガ、伯  
子男ノ總數ノコト、思ヒマシタガ、各爵ニ付イテノ總數デゴザイマセウカ、  
マ一度……

○男爵紀俊秀君 伯子男爵ノ各爵ノ總數、伯爵ハ幾ラ、子爵ハ幾人、各爵ノ  
中デ現今未襲爵ノ人ガ幾人ト云フ區別ヲドウカ……

○政府委員(安廣伴一郎君) 伯爵ガ百一人、子爵ガ三百七十五人デゴザイマ  
ス、男爵ガ三百八十人、其中未襲爵ハ伯爵一人、子爵三人、男爵四人デゴザ  
イマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ他ニ發言者モ無イトイ認メマスカラ採決ヲ致シ  
マス、此修正案ニ付キマシテモ採決ハ記名投票ヲ以テセラレタイト云フ要求  
ガ出テ居リマス、故ニ記名投票ヲ以テ採決イタシマス、此度ハ先日ノ如ク諸  
君ノ御席へ書記官ヲ出シマスカラ投票ヲ御渡シヲ願ヒマス、諸君ハ本院規則  
ヲ皆御承知デアルト考ヘマスガ念ノ爲申上ゲマス、問題ニナツテ居リマスノ  
ハ廣澤伯爵竝ニ定規ノ贊成者ヨリ御提出ニナリマシタ修正案デアリマス、ソ  
レ故ニ修正案ヲ可トセラレル諸君ハ白色票ヲ、否トセラレル諸君ハ青色票ヲ  
書記官ニ御渡シヲ願ヒマス

〔書記官投票ヲ集ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 御投票漏レガゴザイマスナラ御申出デヲ願ヒマス  
〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、總數二百六  
十三、白色票ヲ投ジタル者、即チ修正案ヲ可トスル者七十九、青色票ヲ投  
タル者即チ修正案ヲ否トスル者百八十四、故ニ修正案ハ否決セラレマシタ  
〔參照〕

賛成者氏名

侯爵細川 護成君 伯爵島津 忠亮君 伯爵大村 純雄君

伯爵徳川 達孝君	伯爵吉井 幸藏君	伯爵松木 宗隆君
伯爵寺島 誠一郎君	伯爵柳澤 保惠君	伯爵廣澤 金次郎君
伯爵大木 遠吉君	伯爵柳原 義光君	伯爵川村 鐵太郎君
伯爵松平 賴壽君	子爵松平 乘承君	子爵板倉 勝達君
子爵本莊 壽巨君	子爵岡内 重俊君	子爵北畠 治房君
男爵赤松 則良君	男爵千家 尊福君	男爵前島 密君
男爵園田 安賢君	男爵茨木 惟昭君	男爵伊達 宗敦君
男爵四條 隆平君	男爵關 義臣君	男爵佐野 延勝君
男爵西五辻 文仲君	男爵中川 興長君	男爵藤枝 雅之君
男爵小野 尊光君	男爵金子 有卿君	男爵本多 副元君
男爵北島 齊孝君	男爵島津 珍彦君	男爵高千穂 宣麿君
男爵杉溪 言長君	男爵南 光利君	男爵新田 忠純君
男爵南岩倉 具威君	男爵平野 長祥君	男爵高崎 安彦君
男爵辻 健介君	男爵紀 俊秀君	男爵山内 豊政君
男爵小早川 四郎君	男爵青 山元君	男爵河邊 博長君
男爵藤大路 親春君	男爵若王子 文健君	男爵德川 厚君
男爵千秋 季隆君	男爵北大路 實信君	男爵眞田 幸世君
男爵尙 順君	男爵伊丹 春雄君	男爵中島 久万吉君
男爵島津 忠欽君	男爵長松 篤棐君	男爵諫早 家崇君
男爵小原 適君	男爵淺野 守夫君	男爵本多 政以君
男爵二條 正麿君	西村 亮吉君	谷森 真男君
渡 正元君	富田 鐵之助君	千坂 高雅君
菊池 武夫君	平山 靖彦君	磯邊 包義君
鎌田 榮吉君	兒玉 淳一郎君	大庭 長九郎君
保阪潤治君	加藤 宇兵衛君	市川 文藏君
反對者氏名		
公爵二條 基弘君	侯爵鍋島 直大君	侯爵黒田 長成君
侯爵徳川 賴倫君	侯爵大炊御門幾麿君	侯爵花山院 親家君
伯爵正親町 實正君	伯爵大原 重朝君	伯爵萬里小路通房君
伯爵清棲 家教君	子爵渡邊 昇君	子爵井上 勝君

子爵樺取	男爵北垣	國道君	子爵鍋島	直彬君
子爵平松	時厚君	良光君	子爵山本	實庸君
子爵裏松			子爵堤	功長君
子爵岡部			子爵井伊	
子爵大宮	定穀君	忠行君	子爵唐橋	在正君
子爵内田	以季君	正養君	子爵山口	末德君
子爵京極	高徳君	幸宣君	子爵一柳	直虎君
子爵久留島	通簡君	和志君	子爵鍋島	直安君
子爵關	博直君	子爵實吉	子爵烏居	忠文君
子爵舟橋	遂賢君	子爵土御門	子爵新莊	
子爵樋口	誠康君	子爵稻垣	子爵井伊	
子爵三島	彌太郎君	子爵毛利	子爵唐橋	
子爵松平	直平君	子爵松平	子爵山	
子爵黑田		子爵稻垣	弘達君	
子爵本多	忠敬君	子爵松平	子爵一柳	
子爵持明院	基哲君	子爵青木	直彬君	
子爵梅小路	定行君	子爵酒井	直虎君	
子爵入江	爲守君	子爵松平	直安君	
子爵入江	爲守君	子爵松平	子爵井伊	
子爵永井	尙敏君	宗義君	子爵唐橋	
子爵堀河	護麿君	子爵伊集院	子爵山本	
子爵細川	立興君	子爵松平	實庸君	
子爵森	清君	子爵松平	忠文君	
子爵野村	宮本小一君	子爵松平	忠庸君	
子爵野島	淺田德則君	子爵船越	功長君	
子爵調所	男爵周布公平君	男爵辻新	子爵井伊	
子爵野村	田中芳男君	男爵辻正	直彬君	
子爵石黒	男爵高木兼寛君	長谷部辰連君	直虎君	
子爵菊池	男爵野田裕通君	衛君	忠文君	
子爵尾臣	男爵昌業君	輝成君	忠庸君	
子爵後藤	新平君	江木千之君	忠德君	
子爵波多野	男爵寺島秋介君	小松原英太郎君	忠文君	
子爵石黒忠惠君	山川健次郎君	讓君	忠庸君	
子爵後藤	新平君			

○議長(公爵德川家達君)	原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
○侯爵黒田長成君	是ヨリ直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス
○河田與惣左衛門君	過半數ト認メマス
○起立者	多數
男爵田中村雄次郎君	木下廣次君
男爵高橋是清君	木下廣次君
男爵武井守正君	木下廣次君
男爵高橋啓造君	木下廣次君
中島永元君	木下廣次君
古市威君	木下廣次君
富井政章君	木下廣次君
野崎清英君	木下廣次君
關山田春三君	木下廣次君
千頭清臣君	木下廣次君
穗積八束君	木下廣次君
高木豊三君	木下廣次君
安廣伴一郎君	木下廣次君
河島醇君	木下廣次君
田島竹之助君	木下廣次君
櫻木嘉右衛門君	木下廣次君
宮本谷藏君	木下廣次君
橋本雄造君	木下廣次君
谷井勘藏君	木下廣次君
廣海二三郎君	木下廣次君
松村時次君	木下廣次君
岡谷惣助君	木下廣次君
細谷巖太郎君	木下廣次君
高橋新吉君	木下廣次君
加藤正惠君	木下廣次君
古莊嘉門君	木下廣次君
馬屋原二郎君	木下廣次君
仁尾惟茂君	木下廣次君
堀基君	木下廣次君
柴田家門君	木下廣次君
湯地定監君	木下廣次君
山田爲喧君	木下廣次君
森山茂君	木下廣次君
重野安繹君	木下廣次君
阿部浩君	木下廣次君
石井晴二郎君	木場貞長君
木渡敏一君	木場貞長君
兒玉利國君	木場貞長君
清瀬善三君	木場貞長君
下條正雄君	木場貞長君
伊澤修二君	木場貞長君
大谷嘉兵衛君	木場貞長君
谷新助君	木場貞長君
吉野周太郎君	木場貞長君
松村脩平君	木場貞長君
五十嵐敬止君	木場貞長君
並木和一君	木場貞長君
杉下太郎右衛門君	木場貞長君
宮崎喜久太郎君	木場貞長君
下鄉傳平君	木場貞長君
河田與惣左衛門君	大澤謙二君
○議長(公爵德川家達君)	大澤謙二君
○起立者	大澤謙二君

○男爵周布公平君 賛成

「其他「賛成」ト呼フ者多シ」

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會ノ決議通リテ

御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四、立木ニ關スル法律案、政府提出、  
第一讀會ノ續、委員長報告、委員長柳澤伯爵

立木ニ關スル法律案  
右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十九日

右特別委員長

伯爵 柳澤 保惠

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔別冊〕

〔特別委員ノ修正、二係ル條ノミチ載錄  
小字ハ修正、二係ル條ノミチ  
ハ削除ノ符號〕

第一條 本法ニ於テ立木ト稱スルハ一筆ノ土地又ハ一筆ノ土地ノ一部分ニ  
○種栽ニ依リ  
○造林ノ目的ヲ以テ生立セシム  
依リ所有權保存ノ登記ヲ受ケタルモノヲ謂フ

第二條 立木ハ之ヲ一箇ノ不動產ト看做ス

立木ノ所有者ハ土地ト分離シテ立木ヲ讓渡シ又ハ之ヲ以テ抵當權ノ目的  
ト爲スコトヲ得土地所有權又ハ地上權ノ處分ノ效力ハ立木ニ及ハス

第四條 立木ヲ目的トスル抵當權ハ前條ノ規定ニ依ル採取ノ場合ヲ除クノ  
外其ノ樹木カ土地ヨリ分離シタル後ト雖其ノ樹木ニ付之ヲ行フコトヲ

得  
抵當權者ハ債權ノ期限ノ到來前ト雖前項ノ樹木ヲ競賣スルコトヲ得但シ  
其ノ競落代金ハ之ヲ供託スヘシ  
樹木ノ所有者ハ競賣ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ相當ノ擔保ヲ供託シテ競  
賣ノ免除ヲ申立ツルコトヲ得  
樹木ノ所有者ハ抵當權者ニ對シテ一箇月以上ノ期間ヲ定メ競賣ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ  
得若抵當權者カ其ノ期間内ニ競賣ヲ爲サルトキハ其ノ樹木ニ付抵當權ヲ行フコトヲ得ス  
第一項ノ規定ハ民法第百九十二條乃至第百九十四條ノ規定ノ適用ヲ妨ケ  
ス  
〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕  
○伯爵柳澤保惠君 諸君、是ヨリ立木ニ關スル法律案ノ審査ノ結果ヲ御報告  
ニ及ビマス、審査ハ三回イタシマシタ、御承知ノ通リニ本案ハナカニ面倒  
ナ問題デ且ツ法案デゴザイマスカラ委員諸君ハ熱心ナル法律家其他ノ方ミヲ  
包含サレテ居リマスルノデ、最モ慎重ニ審議ニナリマシタノデゴザイマス、  
質問モ多々ゴザイマシタ、ソレニ對スル答辯モゴザイマシテ、結局此立法ニ  
付イテハ必要ト認メマシタガ、併ナガラ修正ノ箇條ガゴザイマスルノデ、少  
シク修正ヲ致シマシテ、御手許ニ修正ノ案ガ出マシタ譯デゴザイマス、先ヅ順  
序ト致シマシテ此法案ノ大體ノ趣意、並ニ此法案ガ曩ニ二十二議會ニ提出ニ  
ナリマシタモノト比較イタシマシテ如何ナル相違ガアルカ、又ドウ云フ點ガ  
修正ニナリマシタカト云フ、此點ニ付キマシテ少シク説明ヲ申上ゲヤウト思  
ヒマス、此法案ノ趣意ハ此理由書ニゴザイマスル通リニ、立木ヲ獨立ノ不動產  
ト致シマシテ、土地ト分離シテ讓渡シ又ハ抵當權スルノ途ヲ啓クト云フノガ  
趣意デゴザイマス、デ二十二議會ニ提出ニナリマシタトキニハ議決ニ至リマ  
セナシダ、ソレニ多少修正シタモノガ政府ノ原案デゴザイマス、二十二議會  
ノトキニ出マシタ所ノ法案ハ立竹木ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ  
又造林ト申シマシテモ、意味ガ廣ウゴザイマシテ、人造林竝ニ天然林ヲ含ン  
デ居リマシタ、ソレカラ尙ホ舊ノ法案ニハ、土地所有者ガ抵當ニ致シテ居ル  
樹木ノ伐採ヲナシタトキノ制裁ガゴザイマシタ、併ナガラ政府ノ此度ノ法案  
ニ至リマシテハ立竹木ノ竹ト云フ二字ガ無クナツテ立木ニナツテ居リマス、ソレ  
カラ造林ト申シマシテモ純粹ノ天然林ハ這入ツテ居リマセヌ、全ク造林ノ目  
的デ生立セシメル樹木ニ限ルト云フコトニナツテ居リマシテ、即チ人工造林

ニ限ッテ居リマス、サウシマスレバ木ノ種類、木ノ數量、木ノ年齢ト云フモノモ明確ニ分ルコトデ、登記ヲスルニモ確カダト云フコトデゴザイマス、又罰則ノ如キモ既ニ新刑法ニ規定ガゴザイマスノデ、此法案ニハ載セテゴザイマセス、詰リ第二條ノ第二項ト第八條、第十條、是ハ二十二議會ニ委員會デ注意ガアツタノガ此案ニ加ハッテ居ルノデゴザイマス、是ガ此法案ト前ノ法案トノ違ッテ居ル點デゴザイマス、ソレデ委員會ノ修正案ハ今朝諸君ノ文書函ヘ入レマシタカラ既ニ御覽ニナツテ居ルデゴザイマセウガ、誠ニ僅カナ修正デゴザイマス、即チ第一條ニ於キマシテ「造林ノ目的ヲ以テ生立セシムル樹木」ト云フ文句ガ「植栽ニ依リ生立セシメタル樹木」ト云フコトニ變ハリマシタ、ソレハドウ云フ譯デ修正ニナツカト申シマスルト、ソレニ付イテハ造林ト云フ文字ニ付イテ段々質問ガゴザイマシテ、其結局ドウモ政府ノ提出ノ意味デハ餘リ範圍ガ廣クナル、造林ト云フトキニハ人工造林バカリデナク天然林モ造林ト云フ内ニ這入ルヤウニ見エマスカラ、サウ云フ疑ヒノ無イヤウニ純粹ノ天然林ハ造林ノ文字ノ内ニ這入ラヌヤウニ其範圍ヲハッキリ分ルヤウニシタ方ガ宜イト云フノデ、詰リ「造林ノ目的ヲ以テ」云々ト云フ字ニ代ヘマスルニ「植栽」ト云フ文字ヲ以テシタル譯デゴザイマス、即チ人工デ仕立テアモノニ限ルト云フ譯デアリマス、ソレカラ第二條ノ「立木ハ之ヲ一箇ノ不動產ト看做ス」此内ノ「一箇ノ」ト云フ字ヲ削リマシタノデゴザイマス、是ハ御承知ノ通リ第一條ニ於キマシテ立木ハジカトノ集團デアルト云フコトガ断ッテアカラント云フ譯デアリマス、ソレカラ第二條ノ「立木ハ之ヲ一箇ノ不動產ト看做ス」此内ノ「一箇ノ」ト云フ字ヲ加ヘマスルト何ダカ樹木ガ不可分ノモノニナルヤウニ考ヘラレル、然ルニ立木ト云フモノハ可分ノモノデ、ソレカラ第四條ニ細字ガゴザイマスノハ、是ハ詰リ樹木ガ土地ヨリ離レタ後ニ抵當權者ガ抵當權ヲ行ハストキニ、其所有者ガ樹木ヲ處分スルコトガ出來マセヌ、サウ云フ譯デアツテハ樹木ガ朽チルト云フコトモアリ、從ツテ其價格ヲ損スルト云フ虞レガアルカラ、ソレヲ救濟スルニハ抵當權ヲ行フ所ノ期間ヲ決メテ置ク方ガ宜カラウト云フノデ、此四項ガ追加ニナリマシタノデゴザイマス、是ダケガ今度ノ修正案ニ付イテ決マツタモノデゴザイマスガ、尙ホ此度ノ委員ノ中カラシテ色々説ガ出マシタ、ソレハ第二條ノ第三項ニアル「土地所有權又ハ地上權ノ處分ノ效力ハ立木ニ及ハス」ト云フコトヲ削除ス

ルト云フ說デアリマシタ、其理由ハ民法ニ於テ斯様ナ規定ハ建物ニ及バヌト云フコトガ書イテナイ、建物ト立木ハ同ジク土地ノ定著物デアルニ、民法ニ於テ建物ニ關シテ規定ガ無イノニ、茲デ獨リ立木ダケニ付イテ斯ウ云フ規定ヲ設ケルノハ穩當デアルマ、矢張リ立木ナリ建物ナリ土地ニ伴ツテ居ルモノデアル故ニ此法案ノ如キ規定ハ稀デアルト云フ所カラ、之ヲ削ツタ方が宜カラウト云フコトデ此削除說ガ出マシタガ、遂ニソレハ成立チマセヌデゴザイマシタ、ソレカラ又第七條ヲ削除シヤウト云フ說ガ出マシタ、ト云フモノハ實際斯様ナ場合ハ極メテ稀デアル、故ニ斯ウ云フ條ヲ置ク必要ハ無イグラウト云フノデ削除說ガ出マシタガ、是モ矢張リ成立シナインデゴザイマシタ、要シマスルニ今度ノ修正ノ箇條ハ政府委員ニモ質問ヲ致シマシタ所ガ、政府ニ於テ異議ハ無イ、即チ同意イタサレタノデアリマス、要スルニ左様ナ譯デ以テ委員會デハ此修正ヲ認メマシテ茲ニ出マシタ譯デゴザイマス、大體斯様ナ譯デアリマスガ、未ダ速記錄ガ出來マセヌノデ、或ハ私ノ説明デ不十分ト云フ御考ガアルナラバ、場合ニ依ツテハ此席ニ委員モ出テ居ラレマスルカラ、其方カラ説明ヲ願フカモ知レマセヌガ、大體修正ノ意味ハ左様ナ譯デゴザイマスカラ、修正案ノ通リニ可決アラムコトヲ希望イタシマス  
○田中芳男君 チヨット質問ヲ致シマス、委員長ヲ御煩ハシ申スノハ甚ダ恐縮デゴザイマスガ、一應私ハ承ツテ置キタイコトガアリマス、ソレハ此案ハ山林事業ニ用キル爲ノ法律デアリマスルケレドモ、若シヤ是ガ植木屋ガ植木ヲ仕立テル、即チ庭木ヲ大變ニ澤山栽植スルヤウナ場合ガアリマシテモ、ソレ等ニハ此法案ノ效力ハ及ボサヌノデアリマスカ、ソレ等ハ全ク別物ニナリマスカ、ソレヲ一つ伺ヒタ、又一つノ疑ヒハ日本ニ於キマシテハ竹林ト云フノガ立派ナ產物ニナツテ居リマスガ、竹林ト云フモノハ樹木デナイカラ此案ノ精神ハ及ボサヌノデアリマスカ、或ハ又此法律ノ效力ヲ是ノモノニモ及ボス譯デハナイカ、其二點ダケヲ承ツテ置キタウゴザイマス  
○伯爵柳澤保惠君 唯今ノ御質問ノヤウナ疑問ハ委員會ニ於キマシテハ別ニ出セヌメデゴザイマシタガ、私ノ考ヘル所デハ第二問ノ方ノ御質問ハ詰リ之ニ規定シテゴザイマセヌカラ、其事ハ此案ノ内ニ含マレナイト思ヒマス、植木屋ノ方ノコトモ私ノ考ヘル所デハ此法律ノ適用ヲ受ケナイモノダラウト考ス、是ダケノ御答ヘデ宜ケレバ私ハ是デ御免ラ蒙リマス

○田中芳男君 ソレデハ政府委員ガ御出デニナツテ居ルナラ、チヨツト伺ヒタイト思ヒマスガ、政府委員ハ御出デ、ゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言モ 無イト 認メマスカラ 探決ヲ 致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移シマシテ 御異存ゴザイマセスカ

○議長(公爵徳川家達君) 政府委員ハ出テ居ラレマス、  
○田中吉男君 ノノダ、政委ニ對ノテ同ニマス、

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○田中芳男君 贊成

ノ範圍ニ入ラヌト云フコトナラ宜シウゴザイマスガ、ソレハ如何デゴザイマ

○富井政章君  
贊成

バヌト云フ譯デアリマスカ、或ハ解釋ノ仕方ニ依ツテハ竹林モ這入ルノデア  
一アベカ、或ハ施予開明ヲ以テノノトコ、ヲ取リキミニトリマスカ、其邊ヲ

〔異譜〕「一四」者「六」

「政府委員上山滿之進君演壇ニ登ル」

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第一讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマ

○政府委員(上山満之進君) 唯今ノ御尋ネニ御答ヘテ申上グマス、第一ハ御尋ネハ植木屋ガ澤山ニ植木ヲ仕立テ、居ルヤウナ部分ガ此法案ノ支配ヲ受ケ

○議長（公爵徳川家達君）全部、特別委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセ

テハ勿論サウ云フモノヲ含マナイ積リテ出シマシタ、サウシテ政府ノ提案ヲ  
修正ニナリマシタ取意ハ人工植栽ニ依ツテ造ツタ林ダケニ適用ニナルヤウニ

義長（公爵德川家達君）御異議ナ名ト認メマヌ

法案ノ支配ノ下ニ立タナイト云フコトハ、政府ノ案ト同一ノ趣旨デアルト考

○伯爵大木遠吉君  
贊成

○石井省一郎君 贊成

所ガ貴族院ノ特別委員會ニ於テ竹ヲ保護スルト云フナラバ、マダ竹ヨリハ別

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

竹ダケ保護スルト云フノハ、他ノモノト釣合ガ取レヌト云フ 委員諸君ノ中力

義長（公爵德川家達君）直チニ第三讀會ヲ開キマス

○議長（公爵徳川家達君） 第二讀會ノ決議通ツデ御罪

〔詩長（公曾徳ノ家達君）〕第二詩會（清詞選）（行書）

〔異語方言〕一附不著不一

ノ立木タクニシミタ 徒元此第ナ成立イタシマシテナリニノ關係ノニサ  
イマセヌ、是ダケ申シテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第五、種痘法案、政府提出、衆議院送付、  
第一讀會ノ續、第六、醫師法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、第七、  
齒科醫師法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告  
種痘法案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十八日

右特別委員長

侯爵 大炊御門幾麿

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔別冊〕

第四條 新ニ保護者ト爲リ又ハ新ニ前條ノ關係ヲ生シタルトキハ種痘ヲ受

ケサルカ又ハ之ヲ受ケタル證跡不明ナル未成年者ヲシテ一月以内ニ種痘ヲ受ケシメ又ハ保護者ヲシテ其ノ義務ヲ履行セシムヘシ

前項ノ期間内ニ其ノ手續ヲ爲シ難キ事由アルトキハ市町村長〔區長ヲ以テ

ツル市ニ於テハ區長ヲ以テ

前項ノ期間内ニ其ノ手續ヲ爲シ難キ事由アルトキハ市町村長〔區長ヲ以テ

ツル市ニ於テハ區長ヲ以テ

未成年者ヲ備使スル雇主ニ關シテハ其ノ之ヲ寄寓セシメサル場合ト雖前

二項ノ規定ヲ適用ス

前條第二項ノ規定ハ前三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 地方長官ハ學校、育兒院、工場等ニシテ多數人ヲ集合セシメ又ハ

之ヲ備使シ若ハ之ヲ寄寓セシムルモノヲ指定シ其ノ費用ヲ以テ種痘ヲ施行セシムルコトヲ得

第十六條 地方長官ハ痘瘡豫防上必要ト認ムルトキハ種痘ヲ受クヘキ者ノ

範圍及期日ヲ指定シテ臨時種痘ヲ命スルコトヲ得

臨時種痘ニ關シテハ本法ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第十七條 醫師虛偽ノ種痘證ヲ交付シ又ハ檢診セスシテ種痘證ヲ交付シタルトキハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 左ニ掲タル者ハ科料ニ處ス

〔特別委員ノ修正ニ係ル條ノミヲ載錄ス、小字ハ修正、一ハ同削除ノ符號〕

第十九條 官廳公署及官立公立ノ學校等ニ於テハ第三條第一項及第四條第一項乃至第三項ノ規定ニ準シ其ノ措置ヲ爲スヘシ

第二十一條 本法ニ於テ保護者ト稱スルハ未成年者ニ對シ親權ヲ行フ者又ハ

ハ後見人、親權ヲ行フ者又ハ後見人ナキトキハ戸主、戸主未成年者又ハ

禁治產者ナルトキハ戸主ニ對シ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ謂フ

本法中市町村又ハ市町村長トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十八日

醫師法中改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十八日

醫師法中改正法律案

右特別委員長

侯爵 大炊御門幾麿

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔別冊〕

〔小字ハ特別委員ノ修正、一ハ同削除ノ符號〕

醫師法中左ノ通改正ス

第五條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ○診療中ノ患者死亡シタル場合ニ交付スル死亡診斷書ニ付ス  
ノ外其ノ技能、療法又ハ經歴ニ關スル廣告ヲ爲スコトヲ得ス  
在ラス

第六條 醫師ハ診療簿ヲ備ヘ十箇年間之ヲ保存スヘシ  
業務上學位、稱號及專門科名ヲ除ク

第七條 醫師ハ何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス  
左ノ事項ノ外之ヲ廣告スル  
ノ外其ノ技能、療法又ハ經歴ニ關スル廣告ヲ爲スコトヲ得ス  
コトヲ得ス

勵位、學位、稱號、前職、事故(病氣又ハ旅行等)、専門科、診察時間、病院又

ハ 医院名、医員又ハ薬剤師名、住所、姓名

第十條第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

本法ニ依リ行政官廳ノ爲シタル處分ニ對シテ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得若違法處分ニ由リ権利ヲ毀損セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十一條中「第六條」ヲ「第六條第二項」ニ改ム

〔参照〕

醫師法

第六條 醫師ハ帳簿ヲ備ヘ患者ノ氏名、年齢、住所、職業、病名及療法ヲ記載スヘシ

前項ノ帳簿ハ十箇年間之ヲ保存スヘシ

歯科醫師法中改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十八日

右特別委員長

侯爵 大炊御門幾麿

〔別冊〕

歯科醫師法中左ノ通改正ス

第六條 歯科醫師ハ診療簿ヲ備ヘ十箇年間之ヲ保存スヘシ

第七條 歯科醫師ハ何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス

業務上學位及稱號ヲ除クノ外  
左ノ事項ノ外之ヲ廣告

其ノ技能、療法又ハ經歷ニ關スル廣告ヲ爲スコトヲ得ス

スルコトヲ得ス

勲位、學位、稱號、前職、事故(病氣又ハ旅行等)、專門科、診察時間、病院又ハ醫院名、醫員又ハ藥劑師名、住所、姓名

第十條第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

本法ニ依リ行政官廳ノ爲シタル處分ニ對シテ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得若違法處分ニ由リ權利ヲ毀損セラレタリトスルトキハ行政訴

訟ヲ提起スルコトヲ得

第十一條中「第六條」ヲ「第六條第二項」ニ改ム

〔参照〕

歯科醫師法

第六條 歯科醫師ハ帳簿ヲ備ヘ患者ノ氏名、年齢、住所、職業、病名及療法ヲ記載スヘシ

前項ノ帳簿ハ十箇年間之ヲ保存スヘシ

〔侯爵大炊御門幾麿君演壇ニ登ル〕

○侯爵大炊御門幾麿君 唯今議題ニ上ボリマシタ種痘法案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告ヲ申上ゲマス、本案ハ兒童ノ種痘ヲ爲スベキ年齢ト、ソレカラ種痘期日ヲ明カニスルコト、ソレカラ種痘ヲ爲サンメルニ付イテ義務者ヲ定メ置クコト、尙ホ其他ニ學校ノ校長トカ若クハ育兒院ノ院長ナドニ其責任ヲ負ハセルト云フヤウナ其他色ニナ方法ヲ厲行スルノデゴザイマス、ソレハ理由書ニモゴザイマス通り、現行種痘規則ハ明治十八年ノ制定デゴザイマシテ不備ノ點ガ多イ爲ニ本案ガ提出サレタモノデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ慎重ニ審査ヲ致シマシタ、最早速記録モ御手許ニ差出シテアリマス筈デアリマスカラ餘り長クハ申シマセヌ、委員會ニ於キマシテ多少修正ヲ致シマシタ箇條ガゴザイマスノデ、ソレヲ簡單ニ御説明ヲ致シマス、第四條ニ於キマシテ「新ニ保護者トナリ又ハ新ニ前條ノ關係ヲ生シタルトキハ種痘ヲ受けサルカ又ハ之ヲ受ケタル證跡不明ナル未成年者ヲシテ一月以内ニ種痘ヲ受けシメ」云々トゴザイマス、此「一月」ト云フノヲ「六月」ト修正イタシマシタ、是ハ第一期ノ種痘ノ如キ本年ノ七月或ハ九月頃ニ生レマシタ子供ハ其翌年ノ六月マデニ種エサヘスレバ宜シイト云フコトニナツテ居リマス、是ハ最モ天然痘ニ罹リ易イ危險ナ時代デアルニ拘ラズ、凡ソ一箇年ト云フ猶豫ガゴザイマス、然ルニ一方ニハ一箇月以内ニ、種痘ヲ受ケタル時云フコトヲ取調ベルト云フコトニナリマスト、毎月毎月種痘ト云フコトヲ念頭ニ置イテ置カネバナラヌヤウナコトガ出來マス、誠ニ複雜ナコトデアル、寧ロ是ハ六箇月以内クラキガ適當デアラウト云フノデ斯ノ如クニ修正イタシマシタ、ソレカラ第十五條ハ全部削除スルコトニナリマシタ、其理由ハ政府ニ於キマシテハ學校トカ育兒院トカ其他雇人ヲ多數雇ツテ居リマス工場ニ於キマシテハ、第三條ノ義務者ニ含マレテ居ツテ唯單ニ種痘セシムルニ止マツテ、義務ノミデ責任ガアリマセヌカラ、コレハ是非地方長官ニ施行セシメタイト云

フノデアリマシタガ、委員會ニ於テハ既ニ第二條、ソレカラ第三條第二十條ニ於テ保護者ノ義務ヲ明カニシテアリマス上ニ第五條ニ於キマシテ市町村ニ法律ノ明文ヲ以テ其責任ヲ有タシテアルニ拘ラズ、尙ホ此上ニ地方長官ニ指定セシムルト云フコトハ餘リニ煩ハシクハナイカ、又育兒院ノ如キハ現今慈善事業トシテ設立セラレテ居ルモノガ澤山アリマスガ、是等ハ他ヨリ注意ヲ受ケルヨリバ自ラ進ンデ受ケシメルノガ當リ前デアリマス、是等ノ理由ヲ以テ削除ニ決シマシタ、ソレカラ第十八條ニ於キマシテ「第十二條、第十三條又ハ第十四條ニ違反シタル者ハ」云々ト云フ中ノ「第十三條」ト云フ四字ヲ削リマシタ、是ハ第十三條ニ「醫師ハ其ノ診療ニ係ル痘瘡患者全治シタルトキ之ニ痘瘡經過證ヲ交付スヘシ」トスウアリマスガ、之ニ對シテ委員ノ一人ガ一條ノ第二期以上ノ者、例ヘテ見マスルト二十歳以上ノ痘瘡ノ患者ニ對シテ痘瘡經過證ヲ交付スルカセヌカト云フ質問ニ對シマシテ、政府委員ハ交付スルケレドモ、保存スル義務ガ無イト云フヤウナ答辯デアリマシタ、然ラバ此第十三條ニ對シマシテ、制裁ヲ加ヘルト云フコトハ苛酷デアリマスカラ、此「第十三條」ト云フ文字ヲ削除スルコトニ決シマシタ、尙ホ御参考マデニ申上ゲテ置キマスガ、此所ニ五十圓以下ノ罰金ニ處スルト云フコトガアルガ、此五十圓以下ノ最低額ハ二十圓デアリマスサウデアリマス、ソレカラ第十八條ノ終リノ「十圓以下ノ料金ニ處ス」、此最低額ハ十錢デアルサウデアリマス、ソレデ本委員會ハ非常ニ多クノ質問ト、又多クノ議論モ出マシテ、斯様ニ修正ニナリマシテゴザイマス、ソレ故ニ此委員會ノ修正通リニ御可決アラムコトヲ希望イタシマス、尙ホ本案ニ付イテ御質問等モゴザイマスレバ、本委員會ニハ多數ノ博士諸君モ居ラレマシテ、此道ニハ最モ明ルイ御方デゴザイマスルデ、其御方ニカラ御説明ニナルコト、存ジマス、誠ニ不十分デアリマスルガ、是ダケ御報告イタシマス、次ハ醫師法中改正法律案、竝ニ歯科醫師法中改正法律案ノ委員會ノ經過ヲ御報道イタシマス、本案ハ種痘法案ト同一ノ委員ニ御付託ニナリマシタ案デアリマス、政府ハ最初本案ノ反対ノ意見ヲ述べ居ラレマシタガ、其反対ノ理由ハ先般政府委員カラ本議場ニ於カレマシテ述ベラレマシタコト、同一ノ御意見デアリマス、然ル所、委員會ニ於キマシテ段々審議ノ末、之ヲ修正スルコトニ致シマシタ、政府モ遂ニ同意セラレマシテ、第五條ノ但書ヲ修正イタシマシタガ、御参考マデニ此第五條ノ全文

ヲ朗讀イタシマス、「第五條醫師ハ自ラ診察セスシテ診斷書、處方箋ヲ交付シス」斯ウ云フノデアリマス、所ガ斯ウ云フコトガ往々アリマシタサウデアリマス、今日マデ引續イテ肺結核ナラ肺結核ヲ診察イタシテ居リマシタ、所ガ其御醫者ガ往診ニ來マシテ歸ツテ參リマシタ所ガ、マダ一時間經ツヤ經タズノ中ニ其病人ガ丁度醫者ノ歸ルト一足違ヒ位デ死ンデ仕舞ヒマシタ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテ死亡診斷書ヲ書イテ貰ハナケレバナリマセヌノデ、醫者ノ所ヘ診斷書ヲ貰ヒニヤリマシタ所ガ、是ガ無效ニナッタコトガ往々アリマスサウデアリマス、ソレデ死亡診斷書ト死體檢案ト同一ニ見マシテ罪セラル、ト云フコトハ、法ノ上カラ考ヘテモ有リ得ベカラザルコトデアリマス、ソレ故ニ死亡スルマデ引續イテ治療シタ者ニハ、死亡診斷書ヲ爲サシメテ差支ナイト云フ法文ヲ附加ヘタノデアリマス、然ルニ原案ニハ「但シ死亡當時迄引續キ治療セル者ニ死亡診斷書ヲ交付スルハ此ノ限ニ在ラス」斯ウナッテ居リマスガ、之ヲ審査シマスルト、ドウモ死亡當時、當時ト云フコトガ少シ耳障リニナリマス、死亡當時ト云フコトハ、イツ頃ヲ意味スルモノデアルヤ、法文トシテ明瞭ヲ缺ク點ガアルト云フノデ、此修正案、即チ小サイ文字デ書イテアリマス通リ「診療中ノ患者死亡シタル場合ニ交付スル死亡診斷書ニ付テハ此ノ限ニ在ラス」斯ウシタ方ガ意味ガ明カデアル、趣意ニ於キマシテモ變ハリガナイト云フノデ、斯ノ如ク決シタノデアリマス、ソレカラ第六條デゴザイマス、是ハ此一番終ヒニ「第十一條中第六條ヲ第六條第二項ニ改ム」ト云フノガゴザイマス、之ヲ要スルニ現行法ノ第六條ヲ厭ウタモノデアリマセウ、現行法ノ第六條ニ「醫師ハ帳簿ヲ備ヘ患者ノ氏名、年齢、住所、職業、病名及療法ヲ記載スヘシ」是ハ醫者トシテハ氏名トカ病名、或ハ療法ハ書キマスガ、細カク恰モ戸籍吏ノ如ク住所、職業等マデ記載スル必要ハナカラウ、實際年齢、住所、職業等ヲ書キマシテモ、一兩度診察ヲ受ケルモノハ病氣ニ依ツテハ眞實己レノ姓名ヲ名乗リ得ルヤ否ヤ疑ハシイノデアリマス、又其他患者デ度々轉居ナドスル者ガアツタナラバ、其都度届ケサスコトモ出來マセヌ、若シ住所ナリ職業ヲ醫者ガ帳簿ニ落シマシタナラバ五百圓以下ノ罰金ニ處セラル、ト云フ次第デ、甚ダ苛酷デアリマス、寧ロ第六條ノ第二項、即チ「前項ノ帳簿ハ十箇年間之ヲ保存スヘシ」ト云フ項目ダケニ止メタ方ガ當然デアルト云フ意味デ、衆議院デ提出ニナッタコト、思ヒマス、ソレニ對シマシ

テハ委員會ニ於キマシテハ前ニ申述ベマシタ通り、第六條ヲ厭ウタコトデ誠ニ尤モナ次第デアリマス、第十一條中第六條ヲ第六條第二項ニ改メムトスルヨリハ、之ヲ削除シマシテ第六條ヲ修正スル方ガ宜カラウト云フコトデ、即チ第六條「醫師ハ診療簿ヲ備ヘ十箇年間之ヲ保存スヘシ」此方ガ穩當デ宜カラウト云フノデ、此修正通リ可決イタシマシタ、次ニ第七條、是ハ近來新聞雜誌ナドニ醫者個人トシテ、或ハ病院其他ノ名目ノ下ニ如何ハシイ廣告ヲスル者ガアリマスガ、是等ハ醫者ノ品位ニ關スルノミナラズ世人ヲ疑ハシメマスカラ、醫者ガ當然爲シ得ラル、ダケノ限りニ於テ廣告サセタ方ガ宜カラウト云フノデ、此第七條ヲ改正シタノデアリマス、是モ亦委員會デハ原案ノ如クニ「左ノ事項ノ外之ヲ廣告スルコトヲ得ス」トスウシマシテ一々斯ウ云フモノヲ列舉シマセヌデモ、「第七條醫師ハ何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス業務上學位、稱號及專門科名ヲ除クノ外其ノ技能、療法又ハ經歷ニ關スル廣告ヲ爲ストヲ得ス」ト斯ウ修正シマシタ、ソレカラ「第十條第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ」斯ウ云フノガアリマスガ、是ハ必要ガ無カラウト云フノデ削除イタシマシタ、是ハ先キホド政府委員ノ反對ノ理由ト同一デアリマシテ「郡市醫師會ハ會員中免許取消又ハ醫業停止處分ヲ受ケムトスル者アル場合ニ於テ辯疏ヲ必要ト認ムルトキハ其ノ事實ヲ内務大臣ニ具申スルコトヲ得」ト云フコトモアリマスシ、中央衛生會議ノ審議ヲ經テ停止スルモノデアリマスカラ、行政訴訟ヲ許スト云フヤウナコトハ必要ガ無カラウト云フノデ削除ニナリマシタ、是ガ醫師法中ノ修正デゴザイマス、此齒科醫ノ方モ是ハ一向ニ變ハリハゴザイマセヌデ、タゞ六條ヲ附加ヘマシタノト、第七條ノ「及專門科名」ト云フ文字ヲ削ルノト、ソレカラアトノ方ハ削除スルト云フコトハ、一向醫師法ト變ハリハゴザイマセヌ、何卒委員會ノ修正通リ御可決アラムコトヲ希望イタシマス

〔田中芳男君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵德川家達君） 田中君

〔兒玉淳一郎君「本員ハ醫師法案ニ付イテ……」ト述フ〕

○議長（公爵德川家達君） 田中君ニ發言ヲ許シマシタ

○田中芳男君 委員長ニチヨット質問イタシマス、唯今ノ種痘法……デハアリマセヌ、醫師法ト齒科醫師法トノ第七條ヲ御尋ね致シタウゴザイマス、此七條ト云フモノ、御修正ニナリマシタニ付イテ「業務上學位、稱號及專門科名

ヲ除クノ外其ノ技能、療法又ハ經歷ニ關スル廣告ヲ爲スコトヲ得ス」トアリマスシ、既ニ此原案ニアリマス所ノ「藥劑師名、住所」ナド、云フ字ハ這入ッテ居リマセヌガ、私ハ藥劑師ノコトヲ御尋ネスルノデハナイ、此稱號ト云フノハ例ヘテ言ヘバ順天堂トカ何ニ病院トカ云フヤウナ稱號デアラウト思ヒマスガ、茲デハ稱號ノ外殆ト書クコトハナラスト云フ譯デアツテ見レバ、順天堂ハ東京市本鄉區湯島四丁目トスウ書クト、モウ既ニ稱號ノ外ノ事ヲ書クヤウニ見エマスガ、ソンナコトハ構ハズ書イテ宜シクナイノカ、宜シクナイノカ、警察署ナドハソレヲドウ取ルカ、私ニハ少シ分リマセヌ、又田舎ヘ參リマスト、何郡何村大字何小字何、何ノ某トカ、ソレニハ道筋ハドコノ停車場カラ東ノ方何里這入ッタ所トカ、或ハドコソコノ町カラドッチノ方ニ當ツテ居ルトカ云フヤウナコトハ、皆是ハ禁ジタ譯デスカ、ソンナコトハ構ハズ譯デスカ、私ハ御醫者様ノコトハ不案内デスカラ甚ダ分リマセヌガ、警察官ガドウ見マスカ、唯此文字ダケ見テハ土地ノ名ヲ書テイモ稱號ノ外ノ事ヲ書イタヤウニナリハシマセヌカト思ハレマスカラ、ソレヲ伺ヒマス

○侯爵大炊御門幾麿君 御答ヘ致シマス、稱號ト申シマスノハ學士デアルトカ得業士デアルトカ宿所ノ事ニ付イテモ御尋ガアリマシタガ、是ハ實ハ此委員會ヲ開キマスルトキハ、速記ヲ止メマシテ種々研究ヲ致シマシタノデ、唯單ニ世人ヲ迷ハシメマシタリ、又ハ醫者自身ノ品格ニ關スルヤウナ文面モアリマスルノデ、唯ソレ等ノ制限ヲシタイト云フダケノコトデアリマスガ、御同様私モ醫者デゴザイマセヌデ、委員ノ中ニハ立派ナ御醫者様ガアリマス、若シ御分リガゴザイマセヌケレバ、其御方ニ御質問ヲ願ヒタウゴザイマス

○田中芳男君 然ラバドウゾ能ク御承知ノ御方カラ、私ノヤウナ愚昧ナ者ニ分ルヤウニ御示シヲ願ヒタウゴザイマス

○男爵高木兼寛君 唯今ノ田中男爵ノ御問ニ御答ヘ致シマス、醫者ガ番地ヲ書クトカ、病院ノ名ヲ書クトカ云フコトハ差支アリマセヌ、診察時間ヲ書ク終リノ方ニナリマスト技能トカ療法トカ或ハ經歷トカ云フコトヲ掲ゲテ、出來モスベカラザルヤウニ思ハレルコトマデ廣告スルト云フコトガアリマスカラ、主トシテ其方ニ對シテ此條ハ設ケラレタノデアリマス

○兒玉淳一郎君 本員モ醫師法案ニ付イテ質問ガアリマスガ、宜シウゴザイ

マスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○兒玉淳一郎君 政府ニ伺ヒタウゴザイマスガ、此十條ノ但書即チ「行政官廳ノ爲シタル處分ニ對シ」云々、アレヲ御削リニナツタコトニ御同意デゴザイマスカ

〔政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜徳郎君) 削除ニ同意イタシマシタ

○兒玉淳一郎君 尚ホ伺ヒマスガ、本員モ醫者デナイカラ其事ハ能ク分リマセヌガ、裁判ノ例デ申シマスルト、先ヅ不服ノアツタトキハ上へ持ッテ行ケル、然ルニ行政廳ノ判断ニ對シテ不服ノアツタトキハ行政裁判所ヘ持ッテ行ク、ソレヲ持ッテ行カセヌヤウニスルト云フハ、ドウ云フ譯デアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

〔政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜徳郎君) 過日此席ニ於テ申述べマシタ如ク、醫師ノ業務ヲ禁止シ又ハ停止スルニ付キマシテハ、中央衛生會ニ諮詢イタシマシテ慎重ナル審議ヲ經テ、内務大臣ガ決シマスルノデアリマス、ソレデ此醫業ヲ停止又ハ禁止シマスル事由ハ、業務ニ關スル犯罪ガアツタトカ、又ハ不正ノ行爲ガアツタトカ云フ場合デアリマス、ソレデ業務ニ關スル所ノ犯罪ガアツタ場合ニ必然之ヲ罰スルノデハアリマセヌ、必然此業務ノ禁止又ハ停止ヲ命ズルノデハナインデ、其情狀ニ依リマシテ重イモノハ之ヲ禁止シ、又稍・重イモノハ之ヲ停止シ、輕イモノハ全ク停止モ禁止モ致シマセヌ、詰リ是等ノ處分ハ裁量ニ屬スル……行政廳ノ認定ニ屬スル所ノ處分デアル、法律ノ規定ニ依テ當然或ル結果ガ生ズルト云フ譯デハアリマセヌノデ、サウ云フ裁量ニ屬スル處分ヲ行政裁判所ニ於テ判断スルト云フコトハ、元來行政裁判所ノ性質カラ見テモ穩當デナイノミナラズ、假令行政訴訟ヲ許シマシタ所ガ、中央醫師會ニ於テ審議イタシマシタル以上、慎重ナル審議ノ方法ハ蓋シアルマイト思ハレルノデアリマス、斯様ナ事柄ノ性質カラ申シマシテモ行政訴訟ヲ許スノハ適當デナイノデ、又之ヲ許シマシタ所デ今日以上ノ保障ヲ與ヘルト云フコトハ出來マセヌカラ、斯ノ如キ規定ハ事ノ性質ニ反シ、又必要ガ無イカラト

ノヲ行政裁判ニ持ッテ行ク例ハアリマセヌカ、他ノ例ハ……

〔政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜徳郎君) 唯今ノ御質問ハ少シ趣意ヲ解シ兼ネマシタガ、主務大臣ノ處分ニ對シ行政訴訟ヲ許シテ居ル例ハ無イカト云フノデアリマスカ

○兒玉淳一郎君 左様デアリマス

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハアリマスル、事柄ノ性質ニ依リマス、併ナガラ唯今申シマシタ通り、醫師ノ業務ヲ禁止停止ノ處分ハ法律ニ條件ヲ定メテ居ツテ、而カモ其條件ガ生ジタトキハ必然生ズル結果ニナルノデアリマシテ、行政廳ノ裁量ニ屬スル處分デアリマスカラ、其裁量ノ當否ト云フコトニ付イテハ、行政訴訟ヲ許シテ居ラヌノガ行政訴訟ノ一般ノ道理デアルト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言ガ無イト考ヘマスカラ採決ヲ致シマス、議事日程第五ノ種痘法案カラ決ヲ採リマス、本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○侯爵大炊御門幾麿君 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○男爵田健治郎君 贊成

○男爵松平正直君 贊成

○男爵武井守正君 贊成

○男爵周布公平君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 〔政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜徳郎君) 本案ニ付キマシテハ委員會ニ於テ鄭重ナル御審議ヲ御盡シ下サイマシテ、殊ニ種々修正マデヲモナサレマシタコトハ、其

勞甚ダ多シト致シマス、修正ハ委員長カラ報告ノアリマ・シタ通り、數箇條ニ涉テ居リマスルガ、多クノ箇條ニ於テハ政府ニ於テ別ニ異議ハゴザイマセヌ、唯一箇條、十五條ノ削除ト云フコトハ、ドウゾ御再考ヲ願ヒタイト考ヘル、デ此十五條ノ趣旨ト申シマスノハ、既ニ先刻委員長カラモ御報告ガアリマシタガ、地方長官ハ學校、育兒院、工場等ニシテ、多人數ヲ集合セシメ、又ハ之ヲ傭使シ……雇テ居ル、若クハ之ヲ寄寓セシムルモノヲ指定シ其費用ヲ以テ種痘ヲ施行セシムルコトヲ得ト云フ此箇條デアリマス、此箇條ヲ設ケマシタ趣意ハ、此前ノ第五條ニ依リマスルト、種痘ヲ致シマスル所ノ義務ハ市町村ガ有ツテ居ルノデアリマス……種痘ヲ施行スル所ノ義務ヲ市町村ガ有ツテ居ル、ソレデ然ルニ此大ナル都會ノ附近等デ、小サナ町村デアッテ、ソコニ大ナル工場ガアルト云フヤウナ實例ガ澤山アリマスル、デ是等ノ工場ニ居リマスル所ノ職工ニ對シテ、種痘ヲ行ヒマスル所ノ義務ヲ其町村ニ負ハシムルト云フコトニナリマスルト云フト、其町村ノ負擔ハ非常ニ時トシテ大キナル場合ガアル、ソレデサウ云フ場合ニ於テハ地方長官ハ町村ノ義務トシテアル所ノ、此種痘ヲ施行スルト云フ義務ヲ工場ニ移シテ、工場主ヲシテ之ヲ施行セシムルト云フ途ヲ啓キタイノガ、此十五條ノ目的デアリマス、先刻委員長ノ御報告モアリマシタガ、其中ニ此第二條第三條ヲ御引キニナリマシタガ、是ハ少シク趣意ガ達ヒマス、第二條第三條ノ義務者ト云フノハ、種痘ヲ受ケシムル義務者、即チ自分ノ子弟ヲシテ種痘ヲ受ケシムルト云フ方ノ義務者デアッテ、種痘ヲ行ヒマスル所ノ義務者ハ、町村デアルト云フノガ本則ニナツテ居ル、即チ種痘ヲ行ヒマスル費用ヲ負擔スルノハ町村デアル、然ルニ唯今申上ゲマシタヤウニ、實例ニ就イテ見マスルト、大ナル工場ガ一ツ小サナ村ニアルガ爲ニ、其工場ノ職工ニ對シテ種痘ヲ行ヒマスル義務ヲ町村ガ負擔スルト云フコトハ時トシテ其資力ニ大ナル影響ヲ及ボス場合ガアリマスカラ、特ニ斯ノ如キ場合ハ地方長官ヲシテ其種痘ヲ施行スルノ義務者ヲ指定セシメヤウト云フノガ此條ノ趣旨デアリマス、ソレデ之ヲ削除ニナリマシタ趣旨ハ、先刻御報告モアリマシタガ、既ニ義務者ハ定マッテ居ルカラ、斯様ナ面倒ナ手續ヲサスニハ及ブマイ、又町村ニ負擔サシテモ是ハ大シタ費用デモアルマイ、ト云フヤウナ御考ガ主デアッタヤウデアリマスケレドモ、此箇條ハ後ニ、此臨時種痘ニ關シテハ本法ノ規定ヲ準用スル、ト云フ場合ニ大ニ働く事參リマス、臨時種痘ヲ行ヒマストキハ、數多ノ人間ニ對シテ、一時ニ種

痘ヲシナケレバナラヌ場合ガ出テ來タ、其場合ニ工場ノ職工ニ種痘ヲシマスル費用、例ヘバ醫者ヲ傭ヒマスルトカ云フヤウナ費用ヲ其小サナ町村ニ負擔セシムルト云フコトハ、ドウモ時トシテハ事情甚ダ穩當ヲ缺ク場合ガアリマス、又時トシテハ町村ノ負擔ニ堪ヘナイト云フ場合モアラウト思ヒマス、デゴザイマスカラシテ、何卒此十五條ハ矢張リ原案ノ通リ御存置ヲ願ヒタイ、此點ダケハ篤ト御再考ヲ願ヒマス、其他ノ修正ニ對シテハ御同意ヲ申上ゲマス

○男爵田健治郎君 チヨット委員長ナリ、若クハ委員ノ方ノ専門ノ御方ナリ、御分リニナル御方ガアリマスレバ、其御方デ宜シウゴザイマスガ、今政府委員カラ十五條ノ維持説ヲ御述ベニナリマシタガ、チヨット承ルト甚ダ御尤モノヤウニ承ルノデアリマス、私ドモハ事實ヲ知リマセヌカラ、分リマセヌガ、今ハ工場ヲ主トシテ仰シャツタヤウデアリマスケレドモ、育兒院トカ、若クハ東京ナドデモ、或ハ幼稚舎、慶應義塾ノ幼稚舎トカ、學習院ノ中學ト云フヤウナモノガ或ハ其年齢ガソレニ當ルヤウナコトガアッタト云フヤウナ事ガアレバ、矢張リサウ云フ所モ、其内輪ハ本人カラ申立テルデアリマセウケレドモ、併シ町村ニ對シテ責任ハ學校ニドウモ有タサヌト云フト、其個人ノ兒童……子供ノ親ニマデサウ云フ事ヲ求ムルト云フコトハ、事實ニ於テ出来ナイ、矢張リ工場ナド、同ジヤウナ關係ガ起リハシナイカト思ヒマス、サウスルト是ハ之ヲ可トスルト云フコトニナルト云フト、隨分其實際ニ於テ困難ヲ生ズルト云フ政府委員ノ説ガ大ニ尤モニナリハシナイカト考ヘルノデアリマス、ソレデ是デモ決シテ差支ナイト云フコトヲ、委員長ナリ委員ノ方デ御信ジニナツタノハ、ドウ云フ理由デアルカト云フコトヲ一應承リタイ

○男爵高木兼寛君 本員ハ本條ヲ否決シタル委員ノ一人デアリマスルカラ、其理由ヲ申述ベマス、ソレデ田男爵モ御分リニナラウカト思ヒマス、本條ハ政府委員ハ極メテ必要ナル條項デアルト主張サレマスルカラ、再三再四、之ニ付イテハ質問ヲ致シタノデアリマス、其質問中ニハ今日マデニ斯ノ如キ場所ガアッテ、斯様ナ結果ヲ生ジテ、ドウシテモ種痘ヲ施スコトガ出來ヌ爲ニ、天然痘豫防ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナカツタ場合ガアリマセウカラ、モ御舉ゲテ御示シニナリタイ、斯様ニ請求イタシマシタケレドモ、事實ヲツモ御舉ゲニナラヌ、唯今政府委員ノ御演説ヲ承ツテ見テモ唯「思フ」ト

云フ御演説デアル、何レノ場合ニ於テ工場ナリ學校ナリガ種痘ヲ自ラ引受ケテシナイ爲ニ天然痘ガ茲ニ流行シタカト云フガ如キコトハ例ヲ以テ、トント御示シニナラヌ、カラシテ實際ハ無イモノダト見テモ宜カラウ、斯ウ云フヤウニ感ジタノデアリマス、成ルホド學校等ノ御話モゴザイマシタケレドモ、第一期第二期ノ種痘……通例二期ノ種痘ハ小學校ノ年齢中ニスルコトニナル、ソコデ是ニハ必ズ保護者ガ無クテハナラヌ、故ニ其父兄タル者ハ爲ニ必ズヤ此種痘ヲスルコトニナリマス、唯今、田男爵ノ御質問ノ如ク學校デモヤリ、又父兄ノ方モ市町村デモヤル、ト云フコトニナリマスト甚ダ複雜ナ方法ニナル、第一條ニ有ルガ如ク、即チ各、シナケレバナラヌモノト心得テ二條三條ト云フヤウナモノカラ順ヲ逐ウテヤル、斯ウ云フコトニナル、加フルニ第六條ニ依リマシテ市町村長ガ相當ノ期日ヲ指定イタスコトニナル、相當ノ期日ヲ指定イタスコトニナル、相當ノ相違ナイ、ソレマデニ種痘ヲ致サズシテ居ル者ガ出來ルト云フヤウナ場合デゴザイマシタナラバ町村ハ公費ヲ以テ残ラズ種痘ヲサセルコトニナラナケレバナラヌ、其場合ニ於テ唯今ノ御演説ニ依ツテ承リマスレバ、大キナ工場等ニアツテハ自ラ費用ノ負擔ニ堪ヘヌト云フホド嵩ム所カラ種痘ガ届カヌト云フコトガアル、斯ウ云フヤウナ御趣意ニ聞エルノデアリマス、又委員會ニ於テモ政府委員ハサウ云フヤウニ説明ヲサレマシタ、所ガ是ハ定期以外ノ種痘ト云フコトニナツテ居ル、定期以外ノ種痘ヲ必ズ必要トスレバ……工場等ニ於テ天然痘ガ流行スルコトハ極メテ困難ナコトデ、若シモ天然痘ガ爆發スルコトガゴザイマスレバ工事ヲ止メナケレバナラヌ、ソレ故ニ工場主ハ努メテ之ガ豫防方法ニ從事イタスノハ當然ノコトデアリマス、加フルニ今日ノ工場ハ昔日ト違ヒマシテ工場係ノ醫者ト云フモノガアリマヌ、其醫者ガ居ツテ自然ソレヲ致スコトニナルト思フ、加フルニ痘苗代價ト云フモノハ極メテ廉イモノデアリマス、痘苗ヲ廉ク痘苗製造所ヨリ拂下ゲテ、雇ヒ置ク所ノ醫師ニ命ジテ此種痘ヲ施スコトハ決シテ困難ナ事柄デハナイ、左様ニ認メテ居リマス、又村ニシテ或ハ學校或ハ育兒院或ハ工場ガアルカラ迷惑ダカラ、サウ云フモノハ去ツテ貰ヒタイト云フヤウナ論ガ起ル虞ハ無カラウト思ヒマス、即チ其例ハ負擔ガ重イ、種痘費ニ堪ヘナイカラ此工場ハ除イテ貰ヒタイ、此學校ハ除イテ貰ヒタイ、育兒院ハ去ツテ貰ヒタイト云フガ起ル苦ハナイ、必ズヤ斯ノ如キモノナラバ市町村ハ迎ヘルニ相違ナイ、斯

様ニ解釋イタシタノデアリマス、斯様ニ致シマスレバ本條ハ無クテモ實際ノ上ニ差支ナイ、且ツ序デニ申上グテ置キマス、此削除シタル十五條ト申スト、イツ地方長官ガ之ヲ應用ナサルカ分ラヌ、期日ノ規定ガ無イノデアリマス、ソレユエ之ヲ削除スル案ヲ提出イタス前ニ是ハイツ御用キナサル、ソレハイツ決メナイ、斯ウ云フコトデアリマシタ、本員ドモハ之ニ「地方長官ハ痘瘡豫防上必要ト認メルトキハ」ト云フ字ヲ御入レナサレバ贊成ヲ致シマルモノデアリマス、イツ使フカ分ラヌ、唯學校、育兒院、工場等ガ費用ヲ負担スルトキニ地方長官ガ之ニ命ジテ其費用ヲ出サセル、斯ノ如キ場合ハ今日マデアリマシタカ、其事實ハ御示シヲ願ヒタイト再三御尋ネ致シタケレドモ、其事實ハトント御示シガ無カッタ、ソレデ遂ニ本條ハ削除スルコトニ致シタノデアリマス、ドウゾ滿場諸君、此削除シタルコトニ御賛成ヲ願ヒマス

○男爵田健治郎君 唯今、高木男爵ノ御説明デ削除ノ御趣意ハ分リマシタ、付イテハ政府委員へ一應伺ヒタインデアリマス、今高木男爵ノ言ハレマスル第三條デ、學校育兒院ノ類、又傭使ノ目的ヲ以テ人ヲ寄寓セシメント云フ類ノモノハ、即チ保護者ニ義務ヲ負擔サシテアルヤウニ見エマスカラ、總テ其義務者ニ費用マデ負擔サセナケレバナラヌコトハ論ヲ俟タヌコトデアリマスカラ、サウスレバ此三條ニ掲ゲテアルモノハ十五條ニハ這入ラナイデ済ムモノデアル、斯ウ云フモノニハ十五條ヲ適用スル必要ハナイノデアルト了解セラレマスガ、果シテ然ルカ、而シテ此工場ト云フモノハ今日デハ工場法ト云フモノ、制定ガゴザイマセヌカラ場所ニ依ツテハ或ハ幼者ナドヲ隨分使ツテ居ル所ガアルカモ知レマセヌガ、併ナガラ兎ニ角第七條ニ規定シテアル所ノモノナドニナリマスルト、ドウモ逆モコンナ學齡ヨリマダ小サナ者ヲ段々工場デ使ハレルト云フ譯モ無カラウシ、工場デ使フコトガアツテモ極メテ稀ナコトデアラウト思ヒマス、サウスレバ今高木男爵ノ言ハレマスル例ヲ示セト言ウタケレドモ、一向例ヲ示サナイト云フ御話デアルト、唯原案ハ斯ウ云フコトガアリハセヌカト、探リ足デ其有ツタトキノ用意ニ書カレタモノヂヤナイカト思フヤウナ感ジガアリマスガ、其點ハ如何デアリマス

〔政府委員一木喜德郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜德郎君) 第一ニ此學校等ノ事ニ付イテ御答ヲ致シマス、

此第三條ニ規定シテアリマスルノハ是ハ種痘ヲ受ケシムル義務デアリマス、種痘ヲ施行スルノ義務デハアリマセヌ、前ニ申シマシタ通り種痘ヲ施行スルノ義務ハ町村ガ負ウテ居ル、尤モ學校ガ任意ニソレヲ負擔スレバソレハ差支ナインデアリマスケレドモ、此第三條ノ規定ハ種痘ヲ施行スル義務トハ關係ノ無イ規定デアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、即チ學校ニ義務ヲ負ハセヤウト致シマスレバ此削除ニナリマシタ十五條ニ依ル外ハナイノデゴザイマス、ソレカラ工場ニ付イテノ御尋ネデアリマスガ、今日ハ工場法ノ規定ガアリマセヌカラ、事實隨分幼少ノ者ヲ使ツテ居リマス、併ナガラ此適用ノ最モ多カルベキハ臨時種痘ノ場合デアリマス、臨時種痘ノ場合ニ於キマシテハ年ノ長幼ハ問ハナイノデアリマス、サウシテ又町村ニ對スル負擔ノ最モ重クナル處ノアリマスノハ臨時種痘ノ場合デアリマス、ソレカラ高木男爵カラ先刻政府委員ハ痘瘡豫防上必要ガアルト認メタトキハト云フ意味ヲ加ヘレバ宜イト言ツタノニ、政府ハ同意ヲシナカッタト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、是ハ此十五條ハ臨時種痘ニノミ關スル規定デナイノデアリマスカラ、平時ノ事ヲ規定スルニ唯今御話ノ如キ修正ニ致シマスルト、少シ釣合ヲ得ナイト云フ趣意デ贊成ヲ致サナカッタノデアリマス、併ナガラ敢テ絶對的ニ御不同意事ヲ云フコトデモナカッタ承ツテ居リマス、ソレカラ其費用ハ極ク僅カナモノデアルト云フヤウナ御話モアリマシタ、雇ツテ居ル醫者ニヤラスルノデアリマイト云フヤウナ御話モアリマシタガ、先刻例ニ引キマシタヤウナ、大キナル都會ノ附近ノ村落ナドニ至リマシテ、必シモ村醫トカ、村デ雇ツテ置ク醫者ガアルト云フ譯デハアリマセヌ、或ハ種痘者一人ニ付イテ幾ラト云フヤウナ費用ヲ拂ハナケレバナラヌコトニナリマスカラ、職工トカ、或ハ學校生徒ト云フ者ガ多數ニナリマスルト、其費用ハナカニ小サナ村ニ比較シマスルト重イ負擔ニナルト思ヒマス、此條ハ承リマスレバ委員會ニ於キマシテモ餘ホド議論ガアッテ、可否同數デ委員長ノ御裁決ニ依ツテ否決ニナツタト云フ位ノ隨分疑ヒノアル問題デアルト承ツテ居リマス、ドウカ此點ハ篤ト御考慮クダスツテ原案ノ通リニ御戻シタ願ヒタウゴザイマス

○男爵高木兼寛君 前ニ申残シタ事ガゴザイマスカラ、ソレヲ補ツテ置キタウゴザイマス、唯今又先刻承ツタ所ニ依リマスレバ、臨時種痘ノ場合ニ於テ殊ニ此條ガ必要デアルト云フコトニ承リマシタガ、是ハ今日マデモ之ヲ主ト

シテ御述ベニナツテ居ルカラ、臨時種痘ト云フモノハ費用ガ掛ルト云フ御考デアラウト思ヒマス、將來ノ臨時種痘ハ今日マデノ如ク、昨年シタ者モ、一昨年シタ者モ、又數年前シタ者モ、一緒ニ混ジテ殘ラズ種痘ヲ臨時ニスルト云フガ如キコトハ、無カラウト思ヒマス、即チ現行種痘規則ニ依リマスレバ、種痘ハ數回スルコトニナツテ居ル、加フルニ臨時種痘ト云フモノガアリマス、ソレト同一デ將來ノ臨時種痘ト云フモノモ今日マデノ如ク數ハ決シテ多クナインデアリマス、若シ政府ニシテ是マデノ如ク臨時種痘ヲ、昨年種痘ヲシタ者モ、一昨年種痘ヲシタ者モ、五年前ノ者モ十年前ノ者モ一緒ニシテ、天然痘ノ流行スル恐ガアルト云ヘバ、年ヲ構ハズナサルト云フコトデアレバ、ソレハ或ハ斯様ナモノガ入用ニナルカモ存ジマセヌ、ケレドモ左様ナコトハ將來無イ筈ト思ヒマス、例ヘバ工場ノ如キハ第二期ノ種痘ヲシタル後ニ這入ル者ガ先づ多イト見ナケレバナリマセヌ、二十歳乃至三十歳クラキノ所ガ今日ノ所デ工場デハ多ク使用人トナツテ居リマス、ソレ等ノ者ノ中デ又十代ノ者モ澤山居リマス、其十代ノ者等ニ付イテ、臨時ニ種痘ヲ度ニスルノ必要ハナイ、専門家ノ言ハルル所ニ依リマスレバ、第二期ノ種痘ヲ十分ニシテ置ケバ天然痘ガ流行スルコトガアルトモ、臨時ノ種痘ヲ施ス必要ハナイト云フ説デアリマス、然ルトキニハ臨時種痘ニ澤山ノ費途ヲ用キテ多クノ人ニ種痘ヲ行フト云フガ如キコトハ決シテ無カラウト思ヒマス、ソレ故ニ本條ハ愈々是ハ不需要ナリ、即チ臨時種痘ノ爲ニ重モニ要スルト云フ御話ナラバ尙更コレハ必要ハナイト本員ハ認メテ居リマス

○田中芳男君 唯今此十五條ニ付イテ政府委員カラ復活ノ御希望モアリマシタガ、特別委員カラソレツテ御討論ガアリマシテ何レモ御尤モニ承リマスル、然ル所全體此條ト云フモノハ地方長官ハ何ミシ得ルダカラシテ決シテ何時デモヤラセルト云フコトデハナイ、マア三年ニ一遍カ十年ニ一遍ルトキニハ之ヲ行フト云フダケノ效力シカナイモノデアレバ、是ハ唯今高木男爵ノ御説ノ如ク削ツテ置イテモ差支ナイト云フ御説ガ尤モニ聽エマスカラ、本員ハ矢張リ復活スルニハ及バナイト考ヘマス

○議長(公爵徳川家達君) 最早御論モ無カラウト考ヘマスカラ採決ヲ致シマス、唯今全部ヲ問題ニ供シマシタガ、衆議院送付案ノ第十五條ニ付イテ大分

質問應答ガゴザイマシタカラ、第一ニ採決イタシマスノハ第一條ヨリ第十四條マデヲ採決イタシマス、第一條ヨリ第十四條マデ委員長報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ第十五條ニ付イテ決ヲ採リマス、第十五條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、他ハ全部ヲ採決イタシマス、委員長ノ報告通リテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ全部ノ二讀會ハ終リマシタ

○男爵高木兼寛君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○田中芳男君 贊成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

誤リマシタ、兩案トモ二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ……是ハ議長ガ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵實吉安純君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○南鄉茂光君 贊成

〔「其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 實吉子爵ノ動議ノ通リニ直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、……委員長ノ報告ニ對シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵實吉安純君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○南鄉茂光君 贊成

○田中芳男君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 明後日ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後三時五十一分散會